

【別冊】

少子化対策・若者に関するアンケート

自由記載の回答内容

少子化対策・若者に関するアンケート結果（自由記載）

Q21 浜松市の若者支援施策について、御意見等ありましたらご自由にお書きください。

	回答内容
1	結婚後の居住地として浜松を選んでもらうために住居の経済的支援策があると良いと思う。
2	奨学金という名の借金返済に苦しむ若者は、自分の人生設計が難しいのではないかと思います。教育費の補助が充実しているとそのような若者は出てこなくなるのではないのでしょうか？
3	若者ではないからあまり関心がないけど、気楽に相談できる場所があれば良いと思う。
4	土曜日の病院やクリニックが混みすぎて大変困っている。普段、平日は仕事をしているので行けないのと、土日は子供の世話でなかなか時間が取れないため、診療までの時間が長すぎると支障がでる。子育てや仕事をしている世代を優先的にやっていただくなどがあるとありがたい。
5	なにがあるのかわからないので知る機会があればいいと思う
6	児童手当の増額を希望します。保育料が3歳未満だと低収入の人が得をするという格差社会の見直し、上の子が卒園した場合3歳未満の下の子が1カウントになり保育料が増額する事の意味不明なルール。非課税が得をしてしまうという忤度な世の中を今一度考え直して頂きたい。もっと子供家庭への憧れを持てる市にしてほしいと願っています。
7	教師、上司（男性女性問わず）の子育て、妊娠、出産に関する知識不足、無知、心無い言葉により、不妊治療、死産、流産、早産をする人がいる現実。社会に出たら、私利私欲のために子どもや若者を扱う大人があまりにも多い現実。新卒で勤めた会社で、無知な同僚や上司があまりにも多すぎて、このままではいけないと思い会社を辞めて、福祉（介護分野）について学び始めた。この最悪な状態が続けば、自分を含めその下の世代も、結婚したいとも子どもを産みたいと思わない。私も今の状況が、本当に最悪だと思っており、周囲の大人や国が動く前に自分がどうすれば、周囲の結婚した友人や出産した先輩を支えられるか、自分も結婚して出産したいと思えるか、勉強し少し考えたいと思う。
8	将来への安心が結婚や出産につながる。子育てや生活に補助するより、雇用安定と収入増につながる取り組みが、根本対策として必要。
9	企画立案する立場の人が、家庭責任をきちんと果たしている男女であって欲しい。うちのことをやらない人間はダメ
10	子供を産み育てるということは尊いことだと言うこと。わかりやすい性教育。自分を相手を大切にすること。ことなかれ主義にならない教育をサービスを提供すること。願ってます。
11	・保育園募集の情報一覧には、オムツの持ち帰りの有無や、布団の有無、布おむつ、方針、お弁当の有無など、具体的な情報を一覧で分かるようにしてほしい。・保育園はオムツも無償化かサブスクにし、送迎時の負担を軽減することはできないか？・学童に関する情報が少ない。保育園のように情報をひと通り閲覧できる媒体が欲しい。・仕事をしながら子育てをする難関が、小1の壁、小4の壁といくつもある状態では、少子化は加速すると思う。望む人がきちんと学童に入れるようにして、その金銭的負担も減らしてほしい。・2人目の出産にも祝い金などがあると嬉しい。・私服の高校という選択肢があっても良いと思う。東京では、学力の高い公立高校こそ私服の学校が多い。・給食費は無償化にして、子どもたちの格差をなくせないか。・街中で子どもたちと過ごせる場所が少ない。科学館やこども館はあるが、夏休みなどは小学生が多く、特に未就学児の居場所や体験機会が少ない。・産後ケアを無償にするなどの、経済的、精神的な助けがないと、1人以上を生み育てていくのは難しいと感じる。・文化的娯楽が少ない。図書館や美術館、博物館などを充実させて、子どもたちが集い学べる、抑圧されない環境を作してほしい。・街中に病児保育がない。預けられず、仕事を休む選択肢しかないのも、仕事との両立を諦めざるを得ない。・子どもがいる世帯の減税など、産んでも安心だと思えるようにしてほしい。・公営の学習塾などは作れないか？
12	若者が高齢者を羨ましがらない政策を！お金がない若者がお金のある高齢者へ実質支払うという構図は変えてほしい。公園の子供の声がうるさいなどのクレームは無視！
13	扶養限度額を上げて欲しい
14	バイトの103万の壁を無くして欲しい。扶養がなくなったらだいぶ嬉しい。
15	若者の定義を決めた方が良いです。例：18歳～49歳まで など
16	若者が気軽に行ける場所を増やして欲しい
17	学生時代から浜松で育った身として、大学に行く(市外へ出る)グループと大学へ行かない(市内に残り続ける)グループに交流が分断されがちだと感じます。それがなくなると、故郷へ定住する人も増えると思うのですが・・・。

18	保育士の給料あげてください。
19	ひとり親や生活困窮者ばかりでなく、しっかり働き納税している人を助けてほしい。大学も東京大阪等、通えない距離。そのため真面目に考える人ほど子供にお金がかかることを知って知っている
20	多様な価値観を認めあう社会では少子化は必然の流れだと思います。子どもをもつことで得られる分かりやすいメリットを作ることが必要ではないでしょうか。
21	浜松市で若者支援を行おうとしていることや取り組みを実際の若者に知ってもらうことが難しいと感じる せっかくの制度だが活用するにはハードルが高い、自分には必要ない、と思われがちだと思うので、気軽にやってみようと思える施策となるよう、また不公平だという意見が高まらないようなアイデアが大切になってくると思います。浜松の文化、良さを若い世代の方に繋げていってほしいと思っています
22	奨学金などを借りた人が、なかなか家族を持とうという気持ちになれなかったり、経済的な不安が結婚に結びつかなかったりしているように思う。学びたい人の支援や出会いの場を設けたり、結婚する特典（祝い金や祝い品）などがあるとよいかもしれない。
23	浜松祭りに積極的に参加させ、地域の住民から、より学、支援が良いと思います。結局は、コミュニケーションが出来ない若者が増えてるって事…
24	若者支援という名の事業を委託された業者が補助金もらうだけに終わっているのが現状。マッチングアプリや婚活業者に委託してる自治体もあるが、恋愛は個人で行えばいいのでそんなものに公金を使わないでほしい。公共施設の料金下げるとか給付金を2～3万円与えるとかでいい。
25	若い人の（もしくは今までになかった新しい文化）活動について否定的に捉えられがちではないかと感じます。タトゥー、スケボー、公園などでの集会、ラクガキその他。公共を侵害していると感じることも大いにありますが、なんでも速やかに禁止するのではなく（もしくは見えないところに押し込めようとするのではなく）広く世間みんなで見守ることができる環境を用意して活動の場を提供していただきたいと思います。交番の外壁なら自由にラクガキしてもよし、とか駅前の一部スペースであればスケボー可（但し事故は自己責任）とか。
26	本当に子どもが欲しい人が頑張れること。無駄に税金使って過度な支援で子どもいない世帯だけが負担増にならないように、バランスをとること。浜松市の現在は十分支援できている。
27	不妊治療の年齢制限を撤廃して治療に関する金銭面も無償化して子どもを欲しい人が欲しい人数子どもを得られるようにすべきだと思う。
28	自立してればどうとでもなる。自分の能力や立場を勘違いさせてしまう情報が多い。
29	浜松は若者が戻ってきたいと思える環境が整っていないと思います。1番は活気不足。中心街になる浜松駅周辺、ザザシティ、有楽街等のにぎわいが不足していると感じます。なぜ都田や浜北近辺は年々活性化し、発展的なのに市の中心は対照的にどんどん衰退しているのでしょうか？それでいいのでしょうか？駅周辺は浜松のシンボリックなスポットであるべきではないのでしょうか？そのような場所に若者が行きたい、集いたいと思える施設、スポットを作ってもらいたいです。1つでは意味がありません、複数作り何度も来たい長時間居たいと思える場所作りが大切だと感じます。進学で都心へ行った若者が、浜松に戻ってきて就職する人もいます。いろんなジャンルの仕事があるのになぜ戻ってくるのか。それは住みやすいから、家族や友人、住み慣れた環境、安心出来る居場所があるから。あとは人が優しい温かいとよく聞きます。これをもっと強く売り出すことが大切だと思います。浜松の良さ、都会になくて浜松にある魅力、浜松だから感じられる温かさをもっと若者に伝えることで、若者が浜松に住もうかな、浜松で仕事を探したいと感じられると思います。小泉さんは浜松の議員さんで1番若いですね？あなたが先頭に立って、若者対策をすること、力を入れることが重要だと思います。あなたにしか出来ない、他の議員には出来ない分野、活動をもっとしてくれることを私は期待しています。子育てで真ん中世代！と謳っているのですから、もっともっと子育て世代との交流を深め、もっともっと子育て世代の声を代弁して、実現に繋げて下さい。
30	子育てに喜びを感じられる街づくりを。子を預けるだけでは、少子化対策にはなりません。子どもたちがのびのび過ごせる環境をつくり、子ども野姿を通して大人も学び成長できる環境作りを。地域全体で子どもを育てること。これが本当の子育て支援だと感じています。
31	若者支援施策という名前にピンとこない
32	明るく気軽に行ける居場所づくり（カフェとか）、オンライン相談
33	不登校児童の行き場づくり。悩みを打ち明けられる場所づくり。ライフプランを一緒に考えて行ける場所づくり。

34	若者が利用できる支援機関について正直言ってこのアンケートを実施するまでよく知らなかったし、分かっていなかったの で、もっと身近に情報を得られる機会が多くあればいいなと思った。少子化対策に繋がるか分からないが、自身の経験上、 結婚や出産、育児において、その場面に直面してみないと実感が持てなかったし、その時に初めて知ることが多かったよう に思う。漠然と、当たり前で結婚し、子供ができ、子育てをしていくものだと思っていたが、実際はその時々にならしたら 良いか迷ったり悩んだりすることが多かったように思う。(私自身は、仕事やキャリアを優先したため結婚が遅れ、1人目は 自然妊娠したが2人目不妊に陥り、不妊治療を経て出産。3人目も希望したが、流産を経験。子育てにおいても個々に発育発 達や性格気質等が異なるため育児書通りにはいかず、日々奮闘中。)そのため、直前になって困らないように、お金や経済の 勉強も含め、結婚、出産、育児においてもっと若い時(学生時代)から将来を見通すような機会や教育、情報があると助かる と思う。また、学校における性教育においても、幼少期から命の教育として段階を踏みながらもっと身近に感じるような性教 育(命が誕生する奇跡と自身の命の大切さや相手の命の大切さを知り、さらには自らも命を育む存在だという実感や体験)の充 実を求めたい。(私自身が経験したものは子供を誤って作ってはいけなく、軽はずみな気持ちで行為に及んではいけないとい うような視点に重点を置いた教育だったように思う。勿論その視点も大事だが、)また、若者世代にしる、子育て世代にし る、交流の場や機会が街中だけでなく市内全土においてもっと拡張、充実するといいなと思う。さらには、晩婚化が進む と、出産育児と親などの介護が重なり仕事や生活面等にも支障が出てきて、経済的には勿論だが肉体系や精神面においても 余裕がなくなってきてしまう。その場合の相談窓口やケア、サポート等も充実してくると有り難い。
35	ベンチャー企業への支援より、地元の若者に支援してほしい！！切実な思い
36	若者が支援されている言う感覚がありません。今年から子供の医療費が無料になったり、妊婦健診の補助が広がったりして いることは知っています。それでも給料は上がりず税金は上がっており、生活は苦しくなるばかり。子供が生まれれば自分 のお金も時間も流れていく中で精神的な余裕は子供が可愛い意外にはあまり見出せなくなっています。楽しく幸せに結婚、 出産していくには不安は軽い方が有利です。実際にはそこまでの余裕がどんどんなくなっている印象です。若者はチャレン ジ精神があります。実際職場では多くの人が活躍しています。それでも女性は妊娠すれば仕事を制限しないといけない風潮 があるのは、どうしても仕事で求められなくなったり、休みのために他のスタッフに皺寄せが行く環境、また自身の親世代 からの「私達もなんとかあったんだから大丈夫。今はこんなに支援があるじゃない、今は贅沢だよ」と言う意見があると 思っています。今は経済状況も家族状況も仕事へのモチベーションも違うのに、同じ価値観でこられるとしんどさがありま す。子供に対してお金を配る、も必要ですが、それで出産が進むとは視点が狭いと思います。各世代を巻き込むような包括 的な支援が必要です。支援が難しければ、今の動きたい世代が動けるような価値観が世間に浸透することを祈ります。
37	若者が精神的、経済的に自立し、社会活動の運営者として総活躍できる世の中にしていきたい。
38	若者支援で最終的に定住まで望むのであれば、浜松に住み、浜松の会社に勤めている場合は奨学金免除など、今後も住み続 けたいと思えるようにした方がいいと思います。若者が集まれば行政が出会いの場をあえて作らなくても自分で見つけられ る機会そのものが増えます。結果として少子化支援にもつながると思います。
39	若者支援政策ではないが、このアンケートで、どのくらい収入が必要か？と言う質問のところで、月収なのか年収なのか分 からなかったので記入出来なかった。普通は年収で考えるのか？常識が無く分からなかったです。すみません。
40	浜松市の教育レベルを上げるため、保育士、学校の先生方の待遇を改善することを最優先してください。なぜ人手不足が続 いているのか、早急な対応と改革を期待しております。
41	金を配れ
42	支援政策をしているという事を知る機会が中々ない。SNSの活用と言っても行政というだけで興味がなくなる人も多いと感 じる。
43	結婚出産のデメリットばかりが浮き彫りになっている気がする。もっとメリットを大々的にアピールする必要がある
44	若者が結婚出産育児をしない1番の理由は、経済的に厳しいためしたくてもできないというのが現状です。経済的に余裕がで ければ少子化対策に繋がるはず。また、私は離婚して離れ離れになっている大事な息子がいます。そういった1人親家庭 により生活が安定する施策をしていただければ幸いです。なかなか難しい課題だと思いますが何卒よろしくお願いいたしま す。

45	子育て世代なのでとにかく子育てがしやすいような行政や支援が欲しい。また小学校くらいのお子さんを持つ友人がよく不登校になって困っていると何件も聴いていたので。どうしてそうになってしまうのだろう？という根本的な教育の場や交友関係などもっとシンプルにしっかり登校して卒業するということが当たり前にできる環境であって欲しい。きっとその為にはそれぞれ自身が豊でないといけないと思う。また磐田市や浜北の方で開業する方がすごく増えていてそういった支援をもっともっと浜松市中心に積極的にやって欲しいです。先日磐田市の商工会議所がすごくオシャレな建物になっていて感動しました。付近でも飲食店が若い人を筆頭に何店舗もされていて、きっと働きやすく環境が整ってきているのかな？と思いました。というより若い人たちから盛り上がってるなと印象が強いです。あとは子供が増えてマンションから一軒家を建てたいと希望がありますが、都市計画区域や浄化槽、下水問題など、浜松の土地相場が高いのに建築条件が色々厳し過ぎて（何年以上住んでないといけないなど）都市計画付近では自宅を建てられないなど。そういう制度は必要でしょうか？もっともっとシンプルに若い人たちを浜松に引き込むにはもっと土地相場に加え昔からある制度の改訂や浄化槽問題もかなり大きいと思います。（維持費のランニングコストがかかる）そして不動産に対しても土地を売って良しではなく。若い人たちが浜松で土地を買っても後悔しないよう購入前の気をつけるポイントなどの発信を行政からしていただきたい。
46	支援金は、世帯で結局もらえないが、配偶者が協力的ではない場合、お金がかけれない。
47	とにかくにもお金が足りません。
48	具体的な取り組みをあまり知りません。もう少し周知されるといいなと感じます。
49	浜松市から、大学進学や就職等で地元を離れた若者は、慣れ親しんだ地元が住みやすく好きだという理由から、卒業や転職を機に浜松市に戻ってくる人が多い印象です。そういった「ターンの若者を増やしたり、その人たちのための就職支援や生活支援を増やしてもいいのではないかと思います。
50	お金面や距離等の負担が無い、活動が増えれば良いと思います。
51	リーズナブルに若者が出会える場所を作って欲しいです。企業がやっている、サイトやイベントは参加費が高く、成功するかもわからないものにお金を掛けるのが難しいです。もっと気軽、安く参加できる場所があれば、参加してみようという気になると思います。
52	若者の情報源であるSNSは結婚や子育てに関して基本ネガティブな意見しかない。男のここが悪い、女のここが悪い、お金がかかる等、周りに流されたり将来の事が見えておらず、今だけを楽しんでいる若者が多いのでまずはネガティブな情報源を絶つ、またはポジティブな情報を展開することが何よりの支援だと思います。
53	金銭面が具体的にどれくらいかかるのかの周知と、経済支援(自己の生活が安心して見通せないと行動に移せないと考えます)。
54	とにかく減税！
55	官製マッチングアプリの創設を希望したい
56	Q-20の方に、但し書き（普段寝起きをしている場所）を付けて欲しい。家のくくりがよく分からない。
57	若い人に掛かる諸々の税金を免除して下さい。
58	やっているイベントのなどは沢山あってもそれを若者に届ける努力をしていない。もっと、企業と連携してイベントや支援などを知ってもらえる努力をするべき。どんな支援策があればよいではなく、今やっていることをどれだけの人に知ってもらい使ってもらう方が先。
59	若者が選択出来る職場環境。特に管理職クラスの上司によって職場環境(残業時間や在宅勤務、フレックスタイムの使用感に大きな違いを感じる。)
60	結婚や子育てしないと損をしたような気になるくらい支援をすれば、転入する人も増える気がする。
61	大学進学で県外に出ても浜松に戻り就職できる環境作り。少子化で、県外に就職したら、市民の高齢化が進むため。
62	施策を実行するにあたり、効果がどの程度見込めるのか十分に検討をしてください。効果がどのくらいあったのか、分析し公表してください。
63	若者に男女が自然に出合って仲良くなれる仕組み・機会を作ってほしい。
64	理想の子育てにはお金がかかる。これを支援しない限り出生率は絶対に上がらない。
65	大規模既存集落制度は、若い世代の移住を妨げている。移住者も許可宅地に容易に建築することができればよい
66	現状言うほど支援は出来ていないです。口だけではなく、成果をきちんと見られる施策に税金を使ってください
67	働いた分だけ保育料が上がっていくので、働く意欲が減ります。長時間働いて稼いでもその分保育料が上がるとなると、子供との時間を削って働いているため損をした気持ちになります。若者（育児世代）への働く意欲も減る気がします。

68	出会いは自分から作ることはできるし(マッチングアプリなど)、結婚や子育てのための情報も若者は自分でスマホなどで調べられます。そうした中であっても結婚や子育てへの不安が生まれるのはすべてお金が無いからです。自分一人が生活するのにも苦労しているのに、パートナーや子供の分まで払えるお金がありません。現実的に考えて結婚や子供を産むことが難しいという気持ちになってしまいます。市が若者を支援し、結婚や出産を多くしてほしいと考えてくれているのなら、まずは経済的支援をしていただきたいです。
69	もっと減税措置をとってほしい。補助金等を増やしてほしい。
70	とにかくお金が足りないと感じております。収入に対し、手取りが少なく、妻、子供に我慢を強いている状態です。私の周りにも金銭的な理由により子供をあきらめる人もいるため、年収にかかわらず手取りや経済的な支援が増えれば、子供を持つ層が増えるのではと考えております。
71	治安が悪く街も汚いため、子育てしようという気にならない。特に夜の浜松駅周辺をどうかしてほしい。他所から来た人におすすめでできない。浜松のありたき姿に対して不要なものを積極的に排除して本当に必要なものに力を入れて欲しい。私は経済的にも恵まれているが(確定申告上1400万、金融資産2000万)、この街が変わらないなら夢もないため転職して出ていこうと思う。対して静岡市は魅力的。
72	金銭的な理由で子供をあきらめる家庭は結構身近に多いです。3人目は諦めるやおろす人も居ました。
73	テレワークスペース等を駅周辺以外にも増やしてほしい。国の政策かもしれないが、積極的に男性にも育児休業を取らせる(キャリアに影響しない)政策を望む。給食費は無償の市町村があるので、横並びにしてほしい。
74	英語能力を全ての学校で向上させるように教育内容の見直しをお願いしたい。
75	生理用品を無償化か支援して頂きたいです。
76	国や行政の想像以上に結婚や子供に意欲ない人は多いです。理由は時間もいお金も自分のことに使いたいから(子供に使う余裕がないから)。パートナー探しの出会いの場を促したところで結婚はしたいけど金銭的に子供は無理といった人が多いので出会いよりも子供を持つことによる金銭的補助に重きを置いて支援して下さい。
77	街中にマンションばかり建てるのではなく、ショッピング施設等の商業施設などいれて街を盛り上げてほしい。盛り上がることで、経済も回り、働く場・交流する場も増えて若者の支援になるのではないか。
78	IR誘致
79	子供＝とてもお金がかかり、自分の自由が無くなるイメージが定着している。昔と違い、可処分所得が減る中、わざわざ子供を作るということ自体が若者にとってのリスクにつながっている。子供にかかる費用は極力なくしてもらいたい。
80	子供を産むには保育園等の充実が必須だと思われませんが、保育士の給料を上げないと誰もなってくれないと思います。保育園に支援したとしても、個々人に支援されているとは到底思えません。保育士個々人に支援するようにし、保育士になりたい人を増やすのも施策のひとつであると考えます。子供を産みたいと思う市への施策の検討をお願いします。
81	我が社の若年層に関して言えば、社員寮を出て一人暮らしができるだけの給料がないという現状があります。家賃補助の制度はないです。最近導入されたベネフィットポイントは家賃に充てることができませんが、年間5万円分しかありません。一人暮らしすらできない給料で、結婚や子育てなどの明るい未来が想像できるのでしょうか？
82	将来の事を考えるのであれば高齢者支援を減らしてでも子育て世代の若者向けの経済的支援を充実させる必要が有ると考えます。
83	子育て支援金の金額増やして欲しい
84	障がい者の就職支援の拡充をお願いします。出産前の不安を取り除くことで、出産率の拡大につながると考えています。
85	子育てするうえで在宅勤務や時短勤務をもっと推進してほしい
86	若者支援施策応援しています。頑張ってください。
87	職場での理解の向上を図ることが出来るように自治体主導で教育を実施して頂きたい。(営利企業だどうしても工数の関係で「業務に直結」しないと実施できません。お忙しいことは重々承知の上でお願い致します。)また、大学等、教育機関との連携をしても効率的であるとも考えています。ご検討のほど宜しくお願い致します。
88	少子化対策を考えるなら、0を1にする対策を考えたほうが良いです。未婚の若者への支援を手厚くしてください。
89	若さあふれる中高生へ、心身の変化(とくに老化)を意識した人生の計画を考える教育。
90	働く子育て世代が参加する習い事やイベントを充実させてほしいです。親子で参加できるものは主婦をターゲットにしているのか平日の昼間が多く、共働きだと参加できません。親子で参加するものもいいですし、託児所があるものもいいと思います。
91	理想の女性と出会いたいのがなかなか出会えず、将来に不安を感じている

92	PTA廃止してほしいです。PTA役員免除のためにやりたくもない、子供会に入り、出たくもない浜松まつりに参加する人も多くいると聞いています。また、片親でもPTA役員を強制させられたとかも聞きます。PTAを業者に委託するなどの検討もしてほしいです。（個人的にはマンションの管理会社のように、PTAの管理会社が実質PTA業務全般を受け持ってもらえるなら、年間1万円まで払います。）
93	衣食住の基本的な部分のコストが低くなれば、お金のために長時間労働をして帰って寝るだけという環境を変えられるのではないのでしょうか。若者がグループで行くと食事が無料で提供される場所など。
94	あまり表に出てきていない気がする。会社の状況も見るとどこも人手不足だと感じているので、就職口はあると思う。若者への支援の過不足についてはわからないが、高校や大学でのインターンなどの労働を体験する場を作って、やりたいことできることを見つけれられる機会を増やすことも一つの手だと思う。
95	市が若者向けに情報発信したいとして、若者の目に留まらなないと話にならない。「若者」を研究し、情報発信の仕方から考える必要があるように思う。
96	3大都市に比べると、人が集まる場所が少ないと感じます。浜松駅前の発展を期待します。
97	何の目的で若者支援を実施するのかにもよりますが、仮に在住者を増やすため、であれば、地方であるというハンディキャップをもカバーするほどのインセンティブがなければ、若者世代の流出は止められないと思います。地元出身者が残る・戻ってくることだけで足りる、というのであればその限りではないかもしれませんが。
98	地域文化の押し付けをやめて欲しい
99	税金の無駄使いをやめて、未来ある子供のために使ってほしい。子育て世帯は区別せず全員平等な施策を希望します。
100	県外から越して来た身として感じることはなるが、軽自動車でも通れないような細い道がナビで表示されることや、他県の細い道よりもさらに細い道が多い等、定住するには安全性が低い。また、街灯が少なく夜に出歩くのが怖い、冬はより早い時間から暗くなるため、会社から帰宅をするにあたり危険を感じる。子供はいないが、狭い道や街灯が十分に整備されていない点を考えると、子供を産むにあたりこの地で良いのかとは感じる。
101	支援が必要な人の電話を待つのではなく、支援が必要な人を積極的に見つける必要があると思います。
102	公務員農家制度を作り、新規就農の若者とその育成を担う既存農家を公務員にする（市が100%買い取り、学校給食などに利用する）。
103	自分を含め同世代の女性と話していると、奨学金返済が終わっていきなく経済的な負担が大きいことやお金がないと無痛分娩を選択できないなど身体的な負担が大きいこと、精神的な余裕がなくて子どもを持つことが考えられない人が多いように感じる。また、親子関係が円滑でなく両親に援助を求められないにも出産に踏み切れない理由になっている。痛い思いをして、生活を切り詰めてまで子どもを持っても、世間が冷たかったり援助が得られなかったりメリットがあるように感じられない。
104	若者支援ではないですが、動物愛護について先進的に進めてほしい。殺処分0や、虐待などを厳重に取り締まる施策をしてほしい。海外からの移住も進んでいる今、野良猫など捕獲する人がいる等聞いたことがあるので、動物が安心して暮らせるような対策や取り組みもしてほしい。
105	浜松市の若者支援施策について詳細を把握していないので、個人的意見となります。人口減少への対策が目標であれば、「人」は「仕事」がなければ集まらないので、企業誘致や企業支援を充実して欲しいです。少子化対策が目標であれば、一世帯当たりの税金削減・保育園/公共施設の拡充をして欲しいです。
106	Q12とQ13で0と書いたが、収入はあまり関係ないという意見のつもりです。低収入の家庭は子供が多く、高収入でも子供が少ないというのが周りに多く感じるためです。なので収入が少なくてもなんとでもやれるはず。やらない人は努力せずわがままばかり言うだけの人と思っています。
107	年上の方のために若者が負担を強いられる生活はおかしいと思います。ぜひ、(経済的にも環境的にも)安心して子供を産み、育てられる環境を作ってほしいです。期待してます。
108	・浜松は立地的に、東京や大阪へのアクセスに恵まれており、住み心地がいいと感じます。そんな住みやすい土地に、家を建てたいと感じていますが、県外から来た人にやさしくないと感じました。妻は浜松出身で、妻の両親も浜松出身であります。しかしながら、家庭の事情により、数回市内で引っ越しをしており、「大規模既存集落制度」に定められる居住歴の要件（線引き後20年以上かつ現在も1年以上）に該当しません。20年以上浜松に居るのに関わらずこのような事態となってしまうのは、あんまりだと思いました。高い土地はいくらでもあります、住宅材も高騰、ローン金利も上がり、今後どのようなことがわからない。対応をお願いします。
109	支援を受けたと感じたことはない。

110	そもそも知らない施策を受けることもできない。それを教えてもらう機会もない。頼りにしなくて済んだと思えばよいことだったかもしれない。
111	若者(特に20代)の手取り収入が上がるように税金などの取り方を改善してほしい。例えば年齢または年収での累進課税の強化。一般的におよそ年功序列で給料は上がっていくが、30歳になるまではその給料の絶対値は少ない。自分自身、趣味と出会いに掛けるお金の配分にとっても困るくらい低かった。お金を貯めるにも年数がかかるが、早く貯まったほうが結婚に結び付きやすいと考える。今の若者は本当にお金がない。結婚適齢期後(例えば40代以降)は勤続年数も十分に経って貯金もあると思われるので、年齢による累進課税もあって良いと思う。
112	「自分らしさ」と「育児」の両立支援こそが、少子化対策や若者活躍への活路だと考えます。その達成には金銭的な支援(育児をしながら、自分の趣味にお金を回せる余裕)と育児環境の整備(保育園や幼稚園の入園ハードルを下げる)が不可欠です。子供をもうけるチャンスがあるのに金銭的な不安や育児の不安をあきらめてしまうのが一番もったいなく、少子化改善のチャンスはここにあると思います。
113	人口減少・少子化対策については、今住んでいる子供世代が、社会人になり地元(浜松)を出ていくことを防ぎたいのか、20代独身〜ファミリー層の市外からの転入を増やしたいのか、アンケートで何を知りたいのかわからなかった。浜松市は移動手段として車がメイン、電車やバスもあるが大都市と比べ本数も少ない。18歳までは電車バス自転車を利用することになるが、不便。自動車の免許を取るとなっても、免許取得費用や自動車の維持にお金がかかる。以前大阪に住んでいたためより不便に感じる。都市部の大学へ進学し家を出た若者が、地元に戻りたいと思うまちづくりが必要ではないでしょうか。そもそも大学進学で市外への流出が減れば不便さに気づかないので少しはましかと思います。 また毎日の生活での疑問ですが、小学校・中学校の区域が広く、通学路も安全でしょうか？小学生が毎日数キロ歩いて向かう姿を見て、自分の子供もこうなるのはかわいそう、と感じます。これに限らずですが、市民の疑問に対してどう解決していくのかを考えるうえで、他の市はどうしてるのか、都市部(東京・愛知・大阪)・地方(静岡県内)と何が違うのか、比較してみたいです。そこでいいアイデアはないか探して欲しいです。市議会議員の方は地元出身も多いかと思いますが、地元愛だけではやっていけないですから、周りをしっかり見て聞いて取り入れてください。
114	犯罪しないように脳改造する
115	子供の医療費を無償化にしてほしい。
116	頑張りが報われる社会になるよう対策して欲しい
117	保育園や病児保育などの申請で、実家が浜松にある前提で話を進められます。核家族世帯でも、安心して子供を預けられる施設を充実させてほしい。
118	日々の生活を頑張っ困らないように努力している人、頑張っいても困っている人、自業自得でなるべくして困っている人がいると考えます。頑張っている人たちが不公平感を感じないような若者支援施策が必要と考えます。
119	班長当番を担当しており、参加しない行事のために出費をしたり、集金をするのが大変です。結婚行事で特に忙しい年なので一年パスして来年取り組ませてほしかったが、融通が利かなかった。夫婦とも帰宅が8時〜9時になるフルタイムで働いているので、もっと余裕のある地域の人や、祭りなど行事参加を楽しみにしている人に担当し、負担を分散してほしかった。毎週何回も回覧版や個人情報である訃報が来ており、実際の手間や、必要な情報を流しているのか精査が必要に思える。地域内での情報格差の是正や、地域での繋がりを大切にするためにも、各地域の班長・当番や情報管理・集金の収益情報を市がクリアにし、コントロール・改善介入することを期待している。
120	スポーツや芸術、趣味等いつでも出入り可能で楽しめる場があれば出会いの場にもつながると思います。身元はしっかり調べたうえで入場できる、ルールを決める、などの配慮も必要だと思いますが・・・。
121	障害者手帳をもっていない、且つ就労していない人の把握と働きかけ。その周囲へのサポート。

122	支援策といえるのかわかりませんが、要望を書きます。少子化を解消したいなら、「共働き夫婦には時間の余裕が無い」という現実を変えて、さらにそのように根付いたネガティブイメージを払拭する対策が必要だと実感しています。 男性も家事育児に積極的になるのは、男女不平等を解消する上で重要だとおもいますが、それは現状「夫婦どちらも余裕がなく、公私ずっと忙しい状態」になっています。オムツなど育児道具関連のコマーシャル一つ見ても、「いつもいつも両親は時間に追われてて辛そう、ストレスも喧嘩も多そう」という、重労働かつハイリスクローリターンなイメージが強く出ています。そういう企業活動が、次世代の「子供生みたくない、育児なんかしたくない。きつそうだから」という風潮につながっているのを実感します。それらへのカウンターアタックとなる政策が今すぐ必要じゃないでしょうか？私も、20代ころはそういう育児系のCMから、非常に大変で面倒そうなイメージを持っていましたから。「共働き夫婦に、時間的余裕がある育児生活を提供する」ことを目的に、政策や、ロビー活動をしてください。お金を出すことも必要ですし、お金をいただけるのは本当にありがたいことですが、お金だけでは時間は買えないこともあります。
123	若者だけでなく全体を見て減税、可処分所得の向上をして欲しい。
124	子どもを産み育てることへの価値を高く感じられるような環境・教育が必要。価値観が多様過ぎて生き方がなかなか定まらないのも一因かと。
125	魅力ある街づくり
126	母子家庭や低所得世帯や高齢者に対して経済的支援をすることは社会として必要という前提での意見です。今後、日本や浜松の未来を背負うのは子供など若者です。現状の出生率低下が続くと内需は伸びず、地方インフラの弱体化は進み国力は弱まる一方です。それにも関わらず、現状の限られた財源に関して母子家庭や低所得世帯や高齢者への経済的支援が多く、子供を育てる世帯、その前の世帯への支援は乏しい(と感じています)。それどころか健康保険料、年金など多くの費用が給与天引きされていて、子供を育てることが難しい、子供を育てれる気になれない層が多く発生していると思います。まずは分かり易く若者に対して経済的支援をしているよと見せたいのでは(ポーズでも良いので)。支援されると、何かしら結果を出さないとと思うのが日本人の性だと思います。
127	最近子供を望まない夫婦が多くなったと感じます。核家族+共働きが普通で、子供を持つには自分の時間がほとんどなくなるうえにしんどいのが確定しているからかと思います。仕事も忙しく、掃除や家事をまとめて週末に行い、遊ぶ時間もほとんど持つことができません。そのうえ物価が上がり普通に生活するだけでもお金がかかるなと思います。家族がいて毎日自炊をしていますが、そう感じるのですから一人暮らしの若者なんかは一馬力で光熱費なども出して、もっと厳しい生活だろうなと思います。男性も女性も、小さな子を育てている間は早く家に帰ることができて、支援してもらえる未来がないと、複数人の子を持ち育てるのは厳しいです。幸せに暮らしたいだけなのに、毎日がしんどいのがデフォルトでは、子を持ちたいとは思わないです。
128	出産、子育てに関するハードルを下げる施策を充実させてほしい。特に保育料については、もう少し援助がほしい。
129	美人で腹筋が割れてて、料理がうまくて、今まで一度も髪を奇抜な色に染めたことがない女性を、私に下さい。
130	特にない。アンケート文面から期待できない。アンケート文面から見直しができる人にこういった活動をしてほしいです。
131	人口動態と出生率を見れば、日本の若者は消えていく一方なので、今いる若者を支援すること以上に海外や他府県から若者を呼び込むことを考えたほうが良い。そのために多少地域社会でトラブルが増えたり治安が悪くならうが、そんなことを気にしているような人口の状況ではない。
132	市議員は、ご高齢が多いので結局若者への施策が本質とずれてしまう恐れがある。また、そもそもその施策を周知させる活動にも熱を感じない。
133	結婚や出産をしたら、減税や社会保険料の軽減をする。
134	海外に出る機会、援助
135	出会いの場はない。
136	余計なことせず最低限の取り組みとし、無駄に税金を使わないこと。
137	収入の壁をなくし全ての人が利用できる施策にしてほしい。
138	周りには収入や生活はある程度充実していて将来結婚したいと考えているが、職場等での出会いも無く交際相手を見つけない人が男女共に多い。興味はあるが婚活アプリを使うのをためらう人やコミュニティが広がるような飲み場などに行かない。出会いの場やコミュニティを広げられるようなイベントや施設、支援を増やした方が良いと思う。

139	少子化の要因の一つに子供が欲しくても作れないという環境(不妊や経済面で)がある。子供を作る事が出来る年齢はある程度決まっており、主に若年層世代だが、若年層を相対的に給与収入が低く、経済的な負担が大きい。高齢者等の支援を少なくし、代わりに若者に対して大幅な経済的な支援が必要だと思う。特に不妊治療に対する理解度は低く、保険適用となった現在も経済的な負担がかなり大きい。不妊に関する経済的な支援を拡充させて欲しい。
140	実現できるように頑張ってください。
141	同世代の異性とのコミュニケーションをお互いに学ぶ場を設けてみてはいかがでしょうか。
142	静岡市のように世帯の所得・きょうだいの年齢・保育所等の利用有無に関わらず、第2子以降の保育料無償を希望します。
143	・所得税の軽減・マイナンバーカード提示による買い物時の割引
144	若者への価格が低めの物件提供
145	ジェンダーフリー教育の撤廃をお願いします。
146	異業種交流会など、いろんな価値観のある人と出会えるような場所を提供して頂ければと思います。
147	結婚した方が得、子供を産んだ方が得といった制度にしてほしいです。シルバーデモクラシーはもううんざり
148	そもそも経済的な支援が不要となるようにして欲しい。自分が当事者になるまで支援を受けられるかどうかは確定しないので不安。
149	浜松市は若者（未成年）に対する教育レベルが自分の生活していた政令指定都市より低いと感じる。例えば、市の図書館1つにしても政令指定都市とは思えない、本の少なさだったり教育へのアクセスが低いと思う。正直、浜松で子育てはしたくないと感じている。
150	家を建てる・結婚・出産・年金など今後のことに対して、今よりさらに補助金やフォローがあってもいいかなと思います。
151	金銭的な支援はある程度自己責任なので手厚い支援はそこまで不必要だと思うが、のびのびスポーツ、散歩できる大規模な公園、悪天候でも過ごせる大規模な屋内施設があると良い（現状イオンしかない）。博物館、美術館も満足できるものではなく、もっと文化的素養を養えるような施設に税金を使ってほしい。就職のために浜松に転入したが、浜松は世界的企業が数多く集積した魅力ある街だと思っていたが文化的な資源に乏しく非常にがっかりした。楽器、バイクなど専門的なミュージアムを企画できる土壌に恵まれているのに、現状は企業の私設の施設に頼り切っていてもったいない。市の大きさ、大企業の集積に対して、静岡市、豊田市のような著名な建築家が手掛けた文化施設が無いのは文化への扱いが軽薄であると自ら露呈しているようなもの。
152	結婚や子供を持つことに消極的な層の分析を十分実施して、施策がずれないようにしてほしいです。
153	高校、大学の費用の補助を所得制限なし（特に子供が多い世帯）としてほしい。
154	現状、子供をつくることへのメリットが感じられない。これは社会的な課題であり、解決するためには「子供をつくるメリット」を創出する必要がある。ありがちなのは、「住民税非課税世帯に～」のような施策だが、重要なのはむしろ中・高所得者への子育てのメリットの創出であると感じる。そもそも住民税非課税世帯はひとり親が中心の世帯であり、ここを手厚くすることで、ひとり親世帯への救済にはなるが、少子化対策には全くならない。モノづくりの市である浜松市は、むしろ中・高所得者が比較的多い市であると感じる。そのため、このボリュームゾーンに対して、「子供を作った方が今後の生活の上で優位に働く状況」を用意することが肝要である。例えば、・2人目を出産した世帯は各補助金に加え、住民税がX年免除（夫婦ともに）・育児休業中の社会保険の手当に対し、前年の税込み年収との差額を市から支給・2人目でお祝い金100万円、3人目で200万円。子供の成人までの医療費、給食費を全額免除・4人目を出産した世帯は住宅ローンを全額市が負担など。これくらい思い切った施策が無ければ、ただでさえ田舎の市である浜松市の少子高齢化は止められない。この高度情報社会の中、「子育ての情報」はあふれており飽和状態であるため、これ以上ここを手厚くする必要は全くなく、逆に今の時代にこれをやると、SNS等で「癒着した中間業者の中抜き」「ボッケないない」と炎上する危険性もあるため愚策である。必要なのは「情報」ではなく、直接的な「経済補助」にあると考える。

155	■教育に力を入れて欲しい。自分は、高校生まで浜松で、大学と社会人の途中までは首都圏で暮らしていたが、戻ってきてから浜松の良さ(自然と都市部のバランス、地方都市にしてはそこそこ栄えている方)が実感できる様になった。こうしたUターンに投資する意味でも、教育に力を入れて欲しい。■都市計画の拡充による、商業施設の活性化を図ってほしい。買い物はやはり首都圏に差を付けられている。例えばロフトやLUSHの様に、首都圏ではよく見るが、浜松で急に見かけなくなるショップがそこそこある。浜松にもある！となってくると、印象が変わると考えている。■公共交通機関（特に高速バス）の拡充を図ってほしい。どうせ出かけたくなるのだから、浜松からでもまあ無理なく行ける、と考えてもらえる様になれば住むには浜松でよい(十分だな)、と考えてもらえる様になると思う。■長期的な視点で取り組んで欲しい。特に高校～大学～25, 6歳代の年代は、放っておいてもどこかへ出かけたくなる年代かと思うので、人が出て仕方がない様に感じる。そういった人たちが戻ってこないといよいよ廃れてしまう様に感じるので、そういう人たちが将来的に戻ってくる様な町にして欲しい。
156	支援が大きければ自ずと子供は増えると思います。
157	若者が遊ぶ場所が少ないと思います。先日浜松市内のスケートリンクが閉館し、スポーツやるにしてもできない環境が生まれています。このままでは他県にどんどん人が流れていくのではと思います。
158	少子化対策として、住民税の軽減を検討して下さい。
159	私は浜松市民ではありません
160	施策のアナウンスが不足していると思います。支援施策について何も情報を知らないです。
161	選挙を高齢者に寄り添うのではなく、若者に寄り添うWebなどのスタイルに変えてほしいです。考え方そのものを高齢者から若者に合わせるような方針が持続可能性を生むと思います。
162	とにかく時間がないので、8h勤務でゆとりある経済状態にしたい。渋滞がひどく、無駄な通勤時間で家庭の時間が取れていない。1車線を2車線にするなど、渋滞対策が少子化対策に直結する。
163	支援機関に連絡した時「誰か周りに助けを求められる環境ではありませんか？」これを言うのはやめてください。そうできない人が助けを求めています。知らない人に恥ずかしい家庭のことを言いたくないと思います。マニュアルなら見直してください。人を絶望させるには十分な言葉です。
164	大阪から浜松に引っ越してきたが、びっくりするほど夜暗い。可美公園の近くだが、200mほど街頭がない道があり、こんなところでは(将来)子供を遊ばせられないし、引っ越した当初は「夜に公園でウォーキングでもしようかな」と思っていたのに暗い・手入れのされていない木が茂っているといった問題で怖くて歩けない。街頭くらい整備してほしい。
165	高齢者向けに比べて全く足りない
166	文化・教育などあらゆる場面で郊外に住んでいる人が常に不利になっている。税金の恩恵も無い。
167	少子化対策の上で若者支援を考えるのであれば、若者にとって魅力ある(住みたいと思える)街にする必要があると思う。個人的な意見ではありますが、浜松では日々の生活に不便することは無いが、良いものが欲しいと思った時には浜松で購入することは選択肢に入らない。各々、生活の中で重要視することは異なってくるだろうが、長く住みたいと思える街にしていくことが第一歩と考える。その上で、若者が結婚・子育てをしていくことを考えると、金銭での不安と子育てをするうえでのサポート面での不安を如何に排除できるかが重要になると考える。金銭面では多くの人が子育てをするうえでどのくらいかかるのか不安である程度の年収が確保できるようになってから結婚・妊活を考えると。また子育てのサポートとして、いまは共働きが主(共働きでないと生活がままならない)であることが多いと感じている。共働きでも安心して働ける環境の整備が必要と考える。さらに、浜松は工場も多く、平常勤務だけでなく交代勤を取っているところも多いと思う。その点から考えると、時間外で子供を預けることが可能な環境があるとより一層安心して働けると感じる。2世帯であれば良いが、父母共に浜松以外が地元である場合は、なかなか親を頼ることも難しく、そういった点でも不安から結婚・子育てに繋がらないケースが存在すると思う。
168	そもそもすでに人口が減ってしまっている状態でどんな手を打っても無駄なので今ある資源を大切に扱うしかないと思います。毎日10時間以上も働いているとその先を考える余裕は一切ありません。
169	若者支援よりも子育て対策に力を注ぐべき。それが若者支援にもつながる。
170	他の自治体と同等以上の金銭面の負担を軽減する支援がほしい。
171	若者支援施策についてでは無いが、私は選挙などに積極的に行かないと若者の待遇は良くならないと感じているため行く意思はあるが、近い友達やパートナーには伝わりずらく諦めている。そのため、選挙の重要性やわかりやすい政策の提示や実行、そもそも選挙に行きやすくするための制度(インターネット選挙等)難しいとは思いますが、導入して欲しい。
172	減税。

173	個人的な問題にはなりますが、出産・育児以前にそもそも結婚できません。
174	老人を支援するために、若手・働き手への増税は間違っている。
175	若者同士の出会いの場を増やしてほしい。20代のころアイミティ浜松の英会話講座を利用して、そこで同世代の友達ができることがとても良かった。ただ、女性が多く、異性と知り合うことはあまりできなかったため、そこが改善されれば、出会いが増え、将来の少子化対策に繋がる可能性はあると思う。
176	若者とは何歳までですか？子育て世代30代は非常に苦しい思いをしています。子供はしくても金銭的に無理なんです。よく考えてください。
177	1歳4か月の子がいる核家族の父39歳です。行政で若者支援に当てはまっているかわかりませんが、県外から来た人も浜松市民もずっと浜松で暮らしたいと思える街にする政策があると良いのではないのでしょうか？例えば、結婚祝い金20万、出産一時金100万円とか、保育園は年度途中でも100%入園でき、保育料は0歳から世帯年収に問わず無料とか。義務教育期間は制服や学校に関わる費用は50%負担とか、一時金が無理なら住民税半額とか。理想ばかりですが、浜松で結婚してもずっとこの地で暮らしていける未来を想像できる支援施策をお願いします。
178	日常を過ごしていても出会いの場がない。自分の収入だけで老後を過ごすのが不安。
179	児童手当や医療費負担など、国の働きには非常に感謝している。ただ、出産費用でもあったが、国が負担してくれた分、病院が値上げするだけ等、逃げ道があり必要な人へ金銭が届かない政策も多い。企業側に少子化対応させる必要があるため、出生率が低く、独身の割合が多い企業の法人税を大幅に増やしたかどうか。また、法人税を上げてでも給与を上げなければいいという対策を取らせないために、割合が変わらなければ累進課税させていけば良い。
180	今時本当に結婚したい人は自力で手段を検索して行うと思います。子供に「犠牲」という言葉を使いたくない。誰もが自分らしく生きられるようになれば理想だと思います。
181	親の老後の不安を相談する場がほしいです。親と同居しているが、うまくいっておらずとてもストレスを感じている。親はお金もないので、親の分まで自分たちへ負担がのしかかることが大きな不安です。とにかく誰かに聞いてほしい。親世帯への金銭的援助が、子供にかかるお金の余裕につながると思います。
182	全世代向けアンケートと同じく、子育て以前に出会いの場が減っています。また物価上昇など生活が厳しくなっているにも関わらず、女性がその苦勞を理解しようとしないうえ、結婚へのメリットを感じなくなっています。生活と結婚への意識改革の教育が必要だと思います。
183	子育て支援ばかりで、それ以前のステージ(結婚、妊娠)の支援が不足している。
184	若者へ個別の支援としては、可能であれば若者の市民税の減税などそもそもの負担を減らす・妊婦検診の割引額をもっと減らす(そしてそれを周知してもらう)、給食費無償化など産まれたあとも安心して子育てできる環境などではないでしょうか。給料支給額を増やすよう国が号令をかけても、社会保険料の年々の値上げが非常に重いです。結婚のメリットが今の日本ではそもそも見えません。共同親権も離婚してはいけない罰則にみえます。企業が大卒採用が増え、奨学金を借り返済する人も増え、そんな中で結婚して子供を授かりたい。と思える人がどれだけいるのでしょうか。 こどもを生むには35歳以下がリスクが少ないとはいえ、就職して数年で産休を取ると会社から嫌な顔をされます。会社としては人が一時的に抜け、辞めるでは無いので補充も難しく大変なのでしょうが、そこを理解してもらわないと子どもを授かりにくいと思います。中には、今は人が足りないから妊娠すると言われる。などという声もネットでは見かけます。国として難しければ、まずは市として意識改革や働き方改革を進め、中小企業などから聞き取りを行いどのような支援があれば産休を取らせてあげられそうか。も聞いてみてはいかがでしょうか。

185	若者支援施策と聞いても、具体的にどんな事ができるのかイメージがわかりません。今はSNSも普及して、子育て＝大変というイメージが根強いように感じます。若者に結婚願望が本当にないのではなくて、お金もないし養っていく自信もないし大変そうだし、景気も不安定だし…と不安が大きくて結婚や出産は本当はいつかはしたいけど、諦めようとしているように感じます。漠然とした不安がなくなれば、結婚しようかなとか子供ほしいなと思えるようになるのかなと。娘たち（6歳と3歳）は、大人になったら子供欲しいと言っています。保育園の男の子と結婚しようと話しています。小さいころはみんな結婚して出産して家族を作るのが当たり前くらいの認識だったと思います。それがいつしか、いろいろな現実をみて自分には無理だと諦めているだけなのかなと…。総理大臣になりたい！や大谷翔平選手みたいになりたい！よりは結婚出産は現実的な夢のように思うのですが、それすらも諦めてしまう社会は問題があると思います。結婚、出産を諦めないためには、一人の収入でも養っていけるだけのお金があることが一番重要なかなと。女性の社会進出も確かに素晴らしいと思うのですが、子育て期間はパートナーや両親の支援が手厚く受けられないなら、子育てと家事のみに専念したいのが本音です。主人の収入のみで生活と貯蓄ができるなら、今すぐにでも仕事を辞めたいと思っています。朝早く起きて、家事に育児、日中は仕事、仕事が終わったら家事に育児…と休む間もないです。（主人の帰りが遅くワンオペになるのもありますが…）子供との時間もとれないまま、就寝時間が来る毎日です。。働かなくても生活できるなら、子育て世代の女性は仕事辞めたい、またはパートくらいで働きたいと思っている女性は多いのでは？と思います。子供産め！働け！と言われても女性の負担が大きすぎます。せつかくの子育て期間を、もっと楽しんで子育てしたいのに、現実には時間に追われる毎日で全然楽しめていないなと思います。世の中のママたちが楽しんで子育てできるようになれば、結婚や出産のイメージも変わっていくように思います。子育てをする人達の支援もちろん大切ですが、一人で生きていく事を選択する人達がいるのも自然な事だと思います。どちらを選択しても、未来に不安がなくなるような施策をして頂きたいです。
186	就職を機に、妻と都心から引っ越して在住しています。浜松市に来て思ったことは、政令指定都市で街として規模が大きいのに対し、車が必要ない環境と感じています。自身は車を運転できるので問題ないですが、妻は車の運転が苦手な移動がかなり制限されてしまっており、都心に戻りたいと言っています。バスや電車の公共交通機関はありますが、行きたいところに行けないことが多々あるそうです。最近市内での引っ越しも考えていますが、移動のことを考慮すると選択肢が制限されてしまいます。郊外にコストコやイオンモール、また浜名湖周辺には観光地等ありますが、車を持ってない学生や若者は移動が大変だと思います。なので公共交通機関のエリア拡大・本数増加や浜松駅前の活性化をお願いしたいです。
187	支援制度の情報について、自ら調べられなくても情報を得られる環境整備（SNSでの発信、動画サイト広告、テレビCMなど）があると、支援制度の利用者が増えて少子化対策につながると思う。
188	一人だと孤独で充実感が得られず、それが毎日積み重なり、気持ちが病んだことがある。今は同棲しているが、晩御飯のタイミングが合わないといくても寂しく思うことがある。近所の飲食店でカウンターで話相手をしてくれる時、気持ちが満たされる。外食を重ねると費用がかさむけれど、孤独感を解消してくれ、充実感を与えてくれる。一人暮らしでネットワークが無く、孤独感を持っている人はたくさんいると思うので、飲食店等への支援を行い、その飲食店のメニュー単価が下がると個人的には有難いと感じる。それ以外にも気軽に話ができる。友達が増える様な交流の場等が増えれば良いと思う。
189	年種・世代別での非婚率を分析して、非婚グループ同士をマッチングさせられるような施策・広報を検討してもらえませんか？ちなみに東京で非婚率が高いのは年収の低い男性、年収の高い女性です。
190	出会いの場の提供
191	利用できるもの、したいものに個人差があるため選択式にしてほしいです。
192	既存の仕事場では足りていないためにT S M C熊本工場のような大型工場の誘致を期待したい。
193	特に不安もなく問題のない出産でしたが出産費用に自腹が15万と妊娠中の検診などで7万ほど費用がかかった。『産みたい人が産んでるんだから子供に対するお金は自分で用意して当たり前』という風潮は理解できるが国として少子化対策したいのならば出産費用は全額無料にしてもいいのではないかなと思う。2人子供がいるが3人目を望まない理由は2人目が4月から1歳児クラスに入園したが月に3回ほど熱を出し仕事との両立が本当に難しいからです。無給でもいいので1歳半～2歳まで仕事を休める選択肢があってもいいと思う。在宅勤務もチームで週2回と決まってお週3～4回には上司がなかなか柔軟に対応してくれないので理解不足を感じます。義母も癌の治療が始まり育児と介護が同時に職場の理解がほしい。会社ではステップアップや向上心を求められるが今できる仕事で手一杯なので面談などで時間を取られたくないです。
194	アダルト・チルドレンを救ってください。顔色をうかがいながら生きてきた人たちを救ってください。もっと、社会に目を向けてください。卓上に社会はありません。
195	所得倍増、専業主婦（夫）の推奨

196	20代女性が住みたいと思えるような市になる必要がある。浜松は女性の職場はあるが、アシスタントや事務職に偏っている気がする。キャリア志向の女性が能力を発揮できるような職場が必要。また、昔ながらの価値観を押し付ける保守的な雰囲気若い女性の流出を加速させていると思う。
197	就労環境の改善（給与・業務時間等）が必要と考えます
198	既存の環境が居心地が良かったとしても、その良さを確認するためにももっとよいものがあるということを知るためにも、新たな出会いに繋がる場は必要と感じます。そのためにはあらゆる業種や業種間を超えた各種団体の中の若手の集まりの活性化が必要ではないかと考えます。もっと大局的な社会的な視点から見る目を養うことが、地域にとっても個人にとってもプラスになると考えます。
199	不妊治療や子育てに対する支援に期待しております。
200	質問が下手だし、悩んでる若者はこのアンケートほとんど知らないし、入力してくれないと思います。こんなアンケートよりやる事があると思いますけどね。
201	義務教育が終わる意味をしっかりと親や子に教えてほしい。義務がおわったとたん、子供や保護者に、かかる負担が大きくなる。こんご益々心配な点。これは、そだててみてわかった。大変なのは義務のあと。普通に義務をおえて、学校行ける子も家庭も、しんどいのはわからない。つまり、自分で精神的に、経済的に、自立していくとはどういうイメージか？親が大人が丁寧に教える機会や時期を、浜松市全体で考えてほしい。進学のための進路指導や夢があるかないか、仕事に就きたいのかなどで終わらせるのではないと思うが現状は手一杯。高校や大学全入時代への準備が社会全体でできているか？
202	結婚、子育てに掛かる費用の軽減をする。給料が低くて税金が高い。1人で生きていくだけでやっとなのに、結婚や子育てにお金が掛かり過ぎて手が出せないと感じてしまうと思う。
203	県外から来た人間でもなじめる環境と、支援の詳細を対外的に大きく取り上げられるような取り組みを施行することで、新たな市民の確保に繋がり、子育てがしやすい市として人が集まる。その結果、市が活性化することでさらなる支援が施行が可能となり、子育て世代以外にとってもプラスとなる支援が可能となると考えます。また市民の高齢化に伴い、交通インフラの強化も必要と考えます。歩道などが整備されていない通学路も多く、高齢者の事故により、若い命が失われている。浜松は中心部から離れた地域にも住居やショッピングモールなどの施設がありますが、本数が少ないバスを乗り継いでいく必要があり不便であり、自動車での移動が必須です。まずは自動車社会を脱却し、LRTや電車新路線の配備、歩道や街灯の再整備に取り組むことで、高齢者の免許返納を促進させることが可能となり、安全かつ理想的な分散型都市のモデルケースとなることが可能と考えます。高齢社会が進む今やっておかないと少子化や市民減少はさらに進み、負の連鎖に陥り、取り返しがつかなくなると思います。
204	浜松での結婚に前向きな若者に向けて出会いの機会を作ってもらえるとありがたいです
205	少子化対策という点では、やはり育児教育にかかる費用が膨大であるニュースが色々流れており、それをネックに子供は作れない、結婚もしなくていい、となっている人が一定数いると思いますので、それに対して何かしら負担軽減、支援いただけるようなことがあったら良いのではと思います。あとはUターン就職を支援する施策等。例えばUターンの人に減税や補助金を出すなど。これにより進学で市外に出た人が戻ってきたいと思える、戻るか迷ってる人を後押しするようなことが出来ると良いかと思います。
206	いろんな産業が盛り上がる中で新卒就職による県外からの転入者が多い感触です。このため子育てに踏み切るには親の支援を視野に入れられない(大家族で育てるという価値観を持ってない)状況にある人が多いように思います。時間的経済的に子育てに踏み切るには将来への不安を感じることが多く、生まれてくる子が果たして豊かに成長できるのか、幸せにしてあげられるのか、見えない状況にある人が多い印象です。
207	大学進学や留学の支援を充実してほしい。また、音楽の都として、音楽に打ち込む学生達への支援に力をいれることで若者がより活気づくと思う。今行われている浜松駅前プロムナードコンサート等は周りの人にも元気を与えていてとても良い。浜松は音楽が盛んなのでこれを活かして行くと良いと思う。
208	若者がどんなことを考えているかおそらく100%理解できていない。理解できていないと対策ができないと思われます。
209	市役所男性職員の育休取得率が低すぎる。
210	静かに勉強出来る場所が欲しい。家では小さい兄弟がいてうるさくてできなかったりする子供も多いのが現状である。受験期も本当は塾とかに行きたくなかったけど家がうるさくて勉強出来ないし図書館も空いてる時間が限られているため静かに勉強出来る場所がなく辛かった。今も専門学校に通っているが静かに集中して学習が出来場所をずっと探している。若者がこの街で子供を産みたいと思うには子供の学習空間、大人の学習空間を充実させることも案のひとつだと思います。みんなで子供の学力を向上させて、地域全体で子供を育てる環境を作りたいです。

211	経済的支援が一番嬉しい。
212	このように問われて、「若者支援施策」として何が行われているか「分からない」というのが正直なところです。私は賃貸に住んでおり、「広報はままつ」は手元に届きません。わざわざネットで調べることもしません。なので…手軽で分かりやすい情報発信をお願いします。・偏見やハラスメントが減っていくといいなと思います。・教員や保育士、幼稚園教諭の数の確保、働き方改革の継続をお願いします。・ワークライフバランスが保たれるよう、自由度の高い勤務（フレックスや時短勤務、在宅ワーク）などはコロナ禍が明けても推奨していただきたいです。・悩みが相談できる窓口の敷居がまっと低くなるといいと思います。・卵子凍結や不妊治療への理解と金銭的負担をお願いします。政治に対して希望がもてないというのが本音です。国会などで、失言や不正について永遠に問いただしているのを見ますが…それも大事かもしれないけど、「時間が勿体無い」とよく思います。ちびっ子たちの「将来の夢 人気ランキング」に「議員」「市長」などが出てくるようになったら、浜松は「いい街」だなと思います！！ぜひそんな世の中、浜松市になりますように。
213	真なるものの物差しを持って己の足で歩む
214	様々な支援や保護で働くのがバカバカしくなる。実際、働かなくてもお金がもらえる。少子化も支援ばかりで、お金出してまで産んでもらいたいなんて、そんなに子育てるのが大変なんだ、お金が掛かるのかと思い、余計産みたくないと思う。そう考えている周りの友達は多い。支援はプレッシャー。どうしたら働いてくれますか。産んだらこうしてあげると押しつけている。それが分かってない。
215	困った！悩んでる！どうしようって思ったら、ここへ連絡して！窓口を明確にして欲しい。引きこもりやニート、自殺、二次障害をなんらかの形でくい止める事を考えて欲しい。本人はもちろん、その親御さんも駆け込めるような場所が身近にあって欲しい。
216	若者支援をする方が、若者でない目上の方が多く、こちらが気を使うと、それが頭に浮かび、億劫になり、足を運ぶ回数が減ることがあった。
217	最もお金が必要となる高校、大学での費用補助をお願い致します
218	今回のような少子化対策の有効手段をアンケートとしているが、そもそも国が少子化対策に前向きではない為、アンケートをとっても意味がないと思います。よって、今後子供の数が減って、日本は他の国の方々に支えて頂ければいいと思います。
219	非常に難しい施策で、地方都市だけの問題ではなく社会的・全国的な問題だと感じています。原資がないことには非常に効果的な施策は打ちようがないので、企業誘致や経済活性化が最優先かと思います。それに伴い働き世代の流入と税収が見込めるので、並行して？前もって？設問のような施策をトライ＆エラーという流れかと考えます。結婚しない(できない)方への対策、お子さんを増やしたい方への対策が恐らく全く違うので、是非ターゲティングセグメントやヒアリングを通してニーズの深堀を行って頂き、行政に反映して頂きたいです。応援しております。
220	子どもの医療費が高校生まで補助が出ていて自己負担が少ない事は本当に助かってます。私自身は現在に不安はありませんが、将来、子どもが学びたい時に自由に学ばせてあげられる費用を出してあげられるかが不安です。市→家庭への補助は結構充実していますが、国や県や市→社員の若者支援を推進している会社や、学校への補助金や施策は不十分かなと思っています。あとは、若者世代がどんな支援があるのか、本当に困った時にしか知ることがないので、もっと周知できたらと思います。
221	もう若くはないですが、子育てをしている中で、離婚・再婚も経験していますが、自分がACであることでカウンセリングを受けたいのですが高くて、予約もいっぱい、子育て中なかなか「今なら行ける！」に合わないため。多分自分よりも困っている人がたくさんいるし、自分がもっと周りに相談できればいいのかもしれませんが、周りの人には否定されたりするのが怖くて、自分の話を聞いてもらいたいただけなのにアドバイスされたりするのもなんだか違ってそのままになっています。ただの贅沢な悩みです。
222	私の職場は女性が50人ほどいる部署です。30代後半の女性は20代前半に出産を終え、子育てしている方が多いです。一方20代半ばから後半の女性は結婚はしていますが、出産、子育てをしている人が少ないです。その背景として仕事が多忙で両立できるか不安といった意見をよく聞きます。20代前半の女性は、結婚願望自体が無い。自分の好きなことをして生きたいので独身がいいという方が多いです。このように若者になるにつれて結婚というものに執着していないです。結婚、出産のメリットや、職場の理解、配慮が必要だと思います。期待しています！
223	気軽に参加することができるアクティビティのイベントなどあったらいいなと思います。また、浜松駅周辺の施設がもっと活気あふれる場所になってほしいと思います。

224	不妊治療の保険適応の回数制限がネックとなっている。若者でも不妊治療が必要な人がいることを知ってもらい、回数を超える場合は補助金を出すなどやりやすい環境を整えてほしい。
225	老人から若者・子どもへやっとシフトされて将来の子供のために大いに期待しています。
226	少子化だと言いますが、まず結婚する人が少ないのが一番の問題と考えます。子育て施策も大事ですが、若者が結婚しやすい、出会いがたくさんある浜松にしてほしいです。
227	女性が男性と同じように働ける環境が必要と考えています。私は夫(自身)が残業が当たり前の環境であり、妻が保育園の迎えをするため、女性が本気で働けない。残業もできないし、出張もできない。女性がしっかり働けるように、男性も早く帰ることができる制度が欲しいです。どんなに補助金があってもお金があっても、結局男性女性お互いにサポートしないと、女性は男性と平等には働けない。女性が働くためには男性も女性をサポートできるように基本的には仕事が定時で終わる環境が必要と考えます
228	土曜日子供を預けれる場所、家事や子育てに終わり休む日がない。自分の時間、妻とのデートする時間がほしい。
229	若者が結婚をしたいと思えるような環境を作ってほしい。結婚をしたい、結婚は楽しい、子どもがかわいい、子どもと過ごしたい、そんなことが若いうちから想像想定できるよう社会の体制を整えてほしい。浜松市としてできることを誰にもわかるように本気度をみせてほしい。
230	子育て支援沢山して欲しい
231	これからどんどん地方の少子化が進み浜松も例外ではない。手遅れにならないうちに革新的な対応策を講じなければ、人口流出と高齢化の歯止めが効かなくなる。浜松に若手が流入するように働く場所を増やす、子育てしやすい街づくり、賃金を上げるなどを我々がやらなくてはならない
232	高校時代までを浜松で過ごしても、大学で東京などへ進学し、そのまま東京など働き手が多い地域で就職する若者が大変多いと感じる。浜松はとても住みやすい場所だが、就職するには就職先が少ないことや、惹かれる企業がないなど選択肢から外れてしまう。街をもっと活性化し、若者が戻ってくるような施策を考え実現させないと、少子化は進む一方なのではないだろうか。早急に対策していただきたい。
233	賃金の底上げが必要だと思う。最低賃金、時給が上がっても、日給や月給が上がっていない。末端で反映されていない。職種による差が激しい。建築土木業の若手が育っていない。伝統工芸などもそうだが、日本の技術が継承されていない。このままでは、日本らしさもなくなり、輸出出来るものもなくなる。賃金が低いので、有能な人材は海外企業へ流出してしまっている。日本は後進国になってしまったと思う。先行きが不安。子供達も海外に通用する人に育てなければならないと思う。外国語の習得も容易になると良いと思う。
234	子供、子育てに関するアンケートの方に記載しました。
235	直ぐに支援の施策の実行実現を図る。時間的に待ったなしまで来ているかと思う。若者が夢を持てる明るい希望の持てる未来を先を歩んでいる人びとが道を作っていけないと思います。
236	浜松市で結婚して子育てする時にどれくらいお金が掛かるか、どれくらいの世帯収入が必要かというモデルケースをいくつか提示してまだ先の事をイメージできない若者に伝わるようなものはどうか
237	浜松市の駅の周りは廃れた商店街などが多くかつては盛り上がっていたのに今はこの活気がない。もし朝が復活したら主婦だって行きやすいだろうし高校生も新たに楽しい場所ができていいと思う。
238	若い年齢から自律を目指して欲しい
239	若者が求めているのは市の??相談所よりも金銭的支援の方が圧倒的に魅力的です。若い人がお金を1番使うのでその人たちに回せば経済も回し、お金が無いから子供は諦めるという選択肢も減らすことが出来ると思う。私は20代後半の女性です。お金があれば自分の子どもは4人欲しいと思っ待っています。けど、経済的に考えて子どもは2人と諦めています。職種は夫婦共に金融機関で正社員で働いています。夫婦共に正社員で二馬力にいるにもかかわらず経済的不安があるのです。無駄遣いはしていません。贅沢ももちろんしていません。経済的支援を市がもう少しでもしてくれるなら、4人目までは頑張りたいと思います。ただ30過ぎたらもう出産はしたくないのでタイムリミットはもうすぐそこですね。ぜひ子供産んだ方がむしろ得くらいな政策を期待しています。
240	若者を議論に参加させる仕組みを作るべき。高齢の議員のみで若者支援の対策なんてできるわけがない。言葉の節々からギャップを感じる。制度づくりもそうだが、それを作る前の組織体制から見直すべき。若者支援では色々必要な項目はあるが、正直金銭的補助さえあれば、みんな結婚するし、みんな子供をうむ。
241	将来の不安の払拭が一番だと思います。職業の安定化。

242	若者の可処分所得が低いことが少子化など全ての問題の元凶だと思います。減税や社会保険料の負担軽減、結婚や出産、教育費用の支援を抜本的に行う必要があると思います。
243	危機感がなかったり興味がないと、お知らせが届いてもまず見ない。 コラボや特典など、若者に有利になるようなこととセットにしてお知らせした方がよいと思う。
244	浜松市が、若者が将来に対して希望を持てる街になってほしい。
245	早急な少子高齢化社会を脱却する施策をお願いしたい。
246	良い取り組みもしているのは理解できるが、様々な媒体を持っていても活かしきれていない。伝え方を工夫することが大事だと思う。
247	少子化の対策をしたらしっかり伝わるように公表してほしいです。広報はままつなどに載せても見ない人が多く、様々な形で発信するのいいと思います。
248	共働きなので結婚自体には特に支援が必要だとは思いませんでした。家も建てました。ただ、家を建てるにあたって、土地の購入時にその地域の事情がよく分からないまま買ってしまいました。結果的にそれなりに古い地域で自治会の行事が結構あるという印象です。平日の仕事で疲れきっているのに自治会行事があり、集積所の早朝の鍵当番があり、それに加えて子供が生まれたら子供会にも入らないといけないことになるとと思います。(自治会も子供会も一応は加入は任意なのでしょうが、任意という認識を持っている人は殆どいないと思います。)正直現役世代にとっては負担が大きすぎると感じます。
249	金銭的支援はもちろんですが、みんなが子育てしながら自分自身も生活を余裕を持って楽しんでもいいんだよっていうような雰囲気、市としておおびらに大袈裟にPRとかして欲しいです。
250	明石市のような子育てに優しい街にしてほしいです。子供たちが未来に希望を持てるような環境で育てたいです。
251	子育て支援ひろばは施設によってかなり差があるものの良いところは本当に良くて、このような施設運営をして頂いていることにとても助けられました。子育て支援に関連してですが、浜松市は認定保育施設などできょうだい枠の制度を採用しているのは大変有難いです。1人目の時の保活は大変ですが、2人目が確実に入園できる保証があるのは、とても心強いです。不満があるとすれば、病児保育を行っての園の少なさです。全部の園とは言わないものの、子育て支援ひろばと同じ園で常時保育が行われていればすごく助かるのになあ、と感じます。理由は、病児保育を希望する際に子供が慣れていない環境に子供を預けるということに抵抗があり、子育て支援ひろばと併設していれば、在園していない園でも慣れている環境になると思いました。この抵抗感や病児保育施設の少なさにより、今まで利用したことがありません。結局は仕事を休むことになってしまっています。また、保育士さんのお給料も市で補助して頂ければ嬉しいなと思います。私は保育従事者ではありませんが、子供を預けている園での先生たちのゆとりやモチベーションを上げることで、我が子のより良い園生活に繋がるのではないかと思います。金銭的な面で言えば、保育料も3歳からではなく0歳から無償化にして欲しいです。世帯年収により保育料が異なるのも不満です。
252	子供が過ごしやすい街になってくれると良いと思います。趣味や好きな事を後押しできるような施設や教育システムがあると良いと思います。あとは親の子育てが余裕をもってできるように支援策を考えてほしいです。
253	市として全区が参加できる行事
254	物価上昇に対して賃金が少ない。少ない給料で家族を持つ事ができない。共働きでないと生活が苦しいのに預ける場所がない。一度社会から離れると良い条件の仕事に就けないリスクがある。アメリカのように子供に対する犯罪は重罪にすべきではないかと思う。また学校でのイジメ対策も進んでいない。現在の少子化は当然の結果だと思う。技能外国人など低学歴な人間を日本に入れても何にもならない、犯罪が増える可能性を上げている。そもそも犯罪者引き渡し条約がない国の人間が国内にある事はおかしい。世界平和統一家庭連合みたいなカルト宗教と政治の癒着は潰すべき。国家転覆罪を、導入して政治家の犯罪を強く取り締まった方がいいのでは？子育て支援も形だけで、利権が絡んでいそう。大学無償化も偏差値の高いところを重点的に支援した方がいいのでは？教育に金がかかると収入が少なく絶望しかない。子供の人数に、対して所得税、住民税厚生年金、健康保健などを減税し3人いれば夫婦共に0円として実収入を増やすくらいの強力な対策をしないと無理。
255	若者の収入が低すぎて将来に希望を持てない。若くして頑張っって子供を育てている人に対しての理解がない。将来ある子供に対しての投資をしてほしい。給食費、保育料、医療費の無償化など子供に対する支援を行ってほしい。ひとり親でなんとか子供を育てているが、経済的に厳しいため支援をしてほしい。
256	結婚願望の薄い若者が増えている。晩婚化、子供を持たない家庭も増えている。不妊治療のサポートがもっとほしい。

257	物価高が加速するなか、給料は横ばいなため、家族が多ければ多いだけ家計は圧迫しています。兄弟は増えれば増えるだけ親が子にける育児の負担は減ると感じてる人も多いです。だからもっと子供がほしいけど、金銭的に無理だからと諦めたのは私だけでなく、周りにたくさんいます。中小企業にも物価上昇に合わせた賃上げをもっと働きかけて欲しいです。
258	金銭面で支援しすぎ。働く人が損をしている気持ちになる。働くことが結婚につながると思う。
259	放課後にこども（小中学生を想定）が自由にいつでも気軽に過ごせる場所を作ってほしいです。こどもが自然と集まって児童館のようにバドミントン・卓球・テーブルゲーム等を楽しめる場所が複数必要です。
260	私は小学生の息子がおり通学時に帯同することがあるが、近隣の子どもたちに挨拶しても無視される場合が多く、子供たちの内向化を懸念している。教育委員会の調査で子どもたちが未来に希望を持ちにくくなっているという結果も非常に危惧している。コロナ化もあり地域との関わりが薄れるなかで、煩わしくない地域コミュニティのあり方について真剣に議論されることを願う。
261	少子化対策のためには、まず子供を持っても将来安心な姿や未来を描けるように、現在の子育て世代が輝くような施策が必要だと思います。例えば、職場で同僚のママさんたちがいつも子供のことで悩みながら辛そうな子育てをしていたり、子育てを理由に退職していく姿を横目で見ていたら、若者たちにいくら出会いの場やパートナーがいたとしても、子供を作ろう育てようという気持ちになれないはず。安心して子育てできるんだという環境や雰囲気醸成していくことが重要と考えます。
262	結婚子育て家事育児への意識や、「生活」を考える力をつけてほしい
263	とにかく給与が低い。何をしてもお金がかかる。物価も上がっている中、給与は上がりず、生活が苦しい。お金に少しの余裕ができるだけ、心にも余裕ができる。手取りが増えることが何よりの支援です。独身の出会いの場が無いこと、結婚や出産への不安も全てお金があれば解決します。若者は行動力はあれど、それを実現するお金がない、というのが現状だと思います。
264	子育て支援というと、子育て世代への優遇政策ばかり求められがちだが、明石市の失敗にあるように、お金がかかるばかりで出生率が上がったわけではない。先進国ならばどうしても少子化はあるが、昨今の出生率低下は看過できるものではない。最近は共働きが主流だが、「共働きは無理だから、子供を育てたくない」という意見もあるので専業主婦であっても意外と金銭的になんとかなっていることが広まれば良いと個人的には考える。あとは専業主婦でも一時保育が使いやすいよう整備するのもいいだろう。特に、多胎児家庭だと一時保育園利用が困難なので、保育園を預けるために就労しなければならないという本末転倒な状況だ。一時保育は専業主婦だと通院や溜まった家事の解消に役立つので大変有効だと考えている。もう少し枠を増やしてもいいと感じた。また、少子化対策において重要だと感じたのは若者の妊娠可能年齢の危機感の無さである。私の周りの同級生は結婚してもすぐには子作りをせず、「金銭的余裕ができたらず作りをする」と考えている人が増えたように感じる。はっきり言ってそれでは遅い。30歳を堺に妊娠率は下がり、流産率は格段に上がる。またせっかくためた貯金を加齢による不妊治療に利用するのは本末転倒と言えるだろう。もう少し早期に出産できる取り組みが必要に感じる。また金銭面だけでなく、子育てと両立しやすい職に転職するためにまだ作らないと話す人もいた。しかしながら私は子育てを経験して、共働きの大変さを知った。共働きは相当仕事が好きで人間意外やるべきではないのである。子育て自体がフルタイム勤務なのである。子育てと両立できる仕事に就ても生まれて来た子供は保育園を嫌がるかもしれない。詰まるところ出産を機に一度退職する方がいいと感じる。一時退職を促すためにも子育てが落ち着いた人たちの再就職をしやすい必要があると感じた。可能であれば退職した出産育児中の母の収入補助ができるといいが、それは財源を圧迫するため現実的ではない。長くなってしまったが、人生における結婚と出産が軽く扱われるようになってしまったと個人的には感じている。幼児までの育児は本来仕事の片手間のできるものではない。「育児は大変」という言葉ばかり広まっているが、大変とわかっていても先代の人々が育児をやめなかった理由は子供をうみ、育てることがとても楽しいことだったからである。先代が命をかけて繋いできた命を私たちは絶やしてはいけない。育児の素晴らしさがもっと広まり、結婚する人が大多数になる世の中になることを願ってやまない。
265	まだまだ子育てしやすい環境とは言えません。特に金銭面での不安で子どもは欲しいけど簡単に決断できない人が多いと思います。今後少しでも子育てしやすい社会になってもらいたいと思っています。
266	県外から来た若者が持ち家を簡単に建てられるように土地を解放してください
267	税金を下げてください
268	たすけて～

269	アンケートの意味ナシ。子育てサークル必要なし。不妊治療に助成金？好きでやってるんだから税金の無駄遣いをするな。馬鹿馬鹿しい「いま子育てをしているひと」に目を向けてほしい
270	支援全般ですが、しっかり税金を納めている世帯への支援を増やした方がいいと思う。
271	若者が楽しめる環境がすくない
272	もっと子育てしやすい環境になればいいなと思っています。一つ目に小児科が少ない、二つ目に幼稚園保育園が少ない、三つ目に子供を育てる上で日用品や衣服の費用がかかるので助成金などあるといいと思っています。社会復帰をする上で、子供を気軽に預かってもらえるような場所が増えるといいと願ってます。結婚や転職で引っ越してきて、近くに祖父母がいないので子供が大きくなってきたタイミングで働きたいけど働きたすことを躊躇する人が多い気がします。
273	頑張っている人が報われる世の中になってほしいと思います。お金がないと進学できない、などは無くならないと思いますが、何か策があると良いと思います。
274	少子化というなら20代半ばで結婚して子供が欲しくなるような環境づくり、不妊治療に対しても割引をもっと効かせた方がいい。例えば20代半ばの夫婦なら5割支援。20代後半なら3割支援とか。そうしたら早めに子供を授かった方がいいんだ！という考えの人が増えると思う。40代で授かるよりリスクは避けられるし、親も子も体力があるうちに子育てを始めやすい環境になれば、自然と結婚を考える人が多くなり、子供が欲しくなる夫婦が増えると思う。あと男性の賃金の値上げをすれば女性が頑張って働かなくても、自分のお小遣い稼ぎ程度にすれば不妊治療にも通いやすいと思う。
275	時間を取ればお金がないし、お金を取れば時間がない。人間を育てるのに自信がないので、何かあったら助かるから大丈夫！！って安心が欲しいです…産んだ人が責任を持つのは当たり前なんですけど…
276	浜松駅に行く道路は運転しやすいが、それ以外の道路が狭いし、見通しが悪く運転しにくい。
277	近年なかなか異性との出会いの場がなく、自分で行動を起こせば作れるのかと思うのですが、なかなかそのようなことが出来る方ばかりではないのかと思います。その中出会うきっかけ作りの促進と、そこに来られる方の最低限の身なりや清潔感、どのような外見であれば少なくとも第一印象をよく思ってもらえるのか？どのようにコミュニケーションをとったら相手と親密な関係になれるのか？良好な関係が気づけるのか？を学んでおいた方がいいのかと思います。結婚している人は自然とそのような能力が学生時代からついているのですが、みんながみんなそのような能力をつけているとは思えません。場数を踏んで学んでいく、とも言えますが出会いのイベントも有料であればそんなたくさんは行けないのかと思います。行かれる前にある程度の知識やイメージを持っていかれた方が1回の出会いで異性との付き合い方が学んでいかなければ良好な関係を気づけるのかと思います。もし結婚をしたくてもできない方がいらっしゃるのであれば、その原因を探り、関係構築に苦戦されている方がいらっしゃったらそのような学びを入れてみてはどうでしょうか？自分は良くも悪くも学生時代から女性との関係を積極的に行っていたタイプだったので、どのようにコミュニケーションをとったらお互いの関係が良くなるのかを学ぶことができて身につけることができました。日本の将来に向けて人口増加に向けて家族を持つことの良さ、日々の楽しさを感じていただけたら良いなと思ってます。どうか良い方向に向かいますように。。。
278	切実に明石市を見習ってほしい
279	経済的支援が必要です。お願いいたします。
280	学費の無償化を希望します。
281	若い人が自分のやりたいことに調整できるような社会になるといいと思います。
282	結婚、出産に関する経済的な負担を軽減して欲しいです。
283	小学校と中学校の学びの多様化を急速に進めることを期待します。偏差値教育からの脱却のための様々な取り組みを実践することを願います。（cocoloプラン、広島県のようなイエナプランの導入、中身を伴ったIB校の実現など。そこからその子に合う教育を選べる仕組みづくり）経済的な支援について、子どもへの支援は親の収入には関係なく行うものにするべきものだと思います。一時的なばらまきは不要なので、社会保険料の負担を軽くしてほしい。高齢者の医療費負担を増やし、そこで確保した予算を子供の多様な学びとEQの高い街づくりへまわしてほしい。貧困問題は子供がいようがいまいが解決すべき課題なので、それは切り分けて別途支援するほうが、予算としても継続的で実質的な支援が行えると考えます。ですが、民度を上げないと良識ある若者はとどまらないし流入してこないのが現実かと。
284	施策を考える立場にある方は、人口減少の根本原因が何なのかプロとして徹底的に追及してほしい。アンケートはあくまで研究材料であり、必ずしも真因が出てくるものではないと思います。
285	プロ球団もなく野球不毛の地である浜松(静岡県)にドーム球場は不要。(プロ球団がある地域でもドーム球場がない地域もあるため)そのような無駄な事業に投資予定のお金を子育て若者支援に回せばいいのではないのでしょうか？

286	若者支援施策について、よく知らないので一概には言えませんが、若者になる前の子どもたちに向けた様々なアプローチが必要なのではないのでしょうか。浜松にいたい、浜松が大好きな人に育つ土壌作りをお願いします。
287	自転車で自由に行動できるようになるまでの小学生の行き場があまりに無いことに困惑しています。徒歩圏内には公園も図書館ありません。学校の校庭以外の遊び場がないが、校庭は高学年がサッカー等をしていてボールが怖くて遊べない。図書室に行きたいが放課後は空いていない。3年生は学童も入れず、両親が仕事をしていて車で送迎が出来ないと友達と遊ぶこともままなりません。子ども図書館など、小規模な図書館でも良いので数を増やし徒歩で通える距離の配置をお願いしたいです。
288	少子化対策で重要なのは婚姻率を上げるだと思っている。若者が自立し経済的に安定する社会の実現（生活費の支援ではない）が優先課題に挙げられるべきだと考える。また就労前の段階(教育制度の中)で、社会で活躍できる場所や環境をより多く紹介し、それらの活動がどのように社会と関わり、社会課題の解決に繋がっていくのかを丁寧に説明することも必要であると感じる。
289	雇用形態の見直しは必要と思います。期間社員や派遣社員では収入の変動がありいつ契約が満了するか分からない状況で次のライフプランを考える余裕はないと思います。それから浜松市に移住したくなるようなまちづくり（移住先の住居などを安い賃貸で貸し出しするなど）があると良いと思います。田舎にも若者住宅という名前のあるアパートがある位なので良いと思います。
290	大学の補助はいらないと思います。大学に入る人と働く人がいる中で、そこに補助をすると働く若者(納税者)が可哀想だと思いました。
291	もっとアピールすると良いと思います。あまり知られてないのでは？
292	大人も子供もお金のかからない遊び場をたくさん用意して欲しいです。
293	若者はお金がない。お金がなければ夢も希望もやる気も起こらない。若者が多くを経験することには何事にも代え難い価値がある。そのための費用を補助すべき。
294	子供を産むと時間とお金がかかり、産んだ人が損をしている印象。せめて金銭的な支援（教育や医療の無償化）くらいはしてもらいたい。
295	子育て世代に対する支援が少ないように感じる。子供の医療費も他の市町村に比べると負担が大きい。高校生まで医療費無料の市町村がほとんどの中で支援が遅れている。妊娠、出産も多大な費用がかかる。親が2人とも仕事をしていないと出産してから子育てしていくのは大変。
296	これからの未来を担う若者、子どもたちの支援をもっと充実させてほしい。子ども欲しくても金銭面で諦める人たちは周りに何人もいます。少子化になる理由は国の援助が少ないからだと思う。
297	結婚にメリットを感じず事実婚のような形をとっている兄弟や友人がいます。配偶者控除や扶養控除を多くして欲しい。
298	物価や税金が高くなる一方で賃金は上がらず、稼いだお金から多額の金額が出ていく現状で明るい先が見えない。大人を支えるために子どもを産むのが少子化対策のように感じる。子どもを産んでも、子連れに対する冷たい声や視線もある。全てに不信感を抱くようになった。必要な支援が得られる先も見えないので、期待していない。
299	もっとコアな妊娠・出産の地域全体での理解あるサポートが必要だと思う。
300	上に立つ人間がもっと若い人にならない限り変わらないと思う
301	結婚したい、子供をもちたいと思う人が減っていることがそもそもの少子化の要因なのではないかと思います。①当たり前のようにそう考える家庭環境で育っていないことや、②経済的な理由をよく耳にします。①については政策ではどうしようもない？もしかしたら経済支援で改善するかもですが直接的ではない。②については自分のためにお金をかけたい人が増えたことや漠然とした不安もあるかと思っています。家族を持ちたいと思えるように根本的に考えを変えていかないと子育てに関する経済支援が増えても少子化は改善されず、より一層結婚しない、子供を持たない人の不満がたまっていくのではないのでしょうか。子育てに関する経済支援を求めているのは既に子供がいる人であって、支援があったからといって産む人数を増やすことはほとんどないと思います。
302	子供に優しい環境にしてください。
303	もっと周知する事をお願いします
304	2歳の双子を育てています。双子や三つ子へのサポート体制がもっと充実すると良いと思います。
305	頑張ってください！
306	若者が楽しく遊べるおしゃれな娯楽施設を増やして欲しい。安全な出会いの場が増えるといい。

307	少子化の一つに結婚できないもしくは出会いがない若者が多いと思います。そういう方達への出会いの場を作っていただけると嬉しいです。
308	子育ての際なかなか預けるとなると、なかなか病院以外大人時間確保できない
309	色々考えてくださっているのだと思いますが、行政だと限界があるのかなと思います。結局、やれることとすると、会社に助成等をして、若者の賃金上げて金銭的に余裕のある状態にしてあげないと、結婚や出産に結びつかないのではないかなと思います。金銭的余裕のない家庭での子供が増えたとしても、子供を取り巻く環境が悪化するかと思ひますし、そういった環境で育った子供が増えることは市や国として果たして推し進めたかった未来になるのかな?と思ひます。やはり結婚や子育てにはお金がどうしてもかかるので、イベント等にお金を遣うのであれば、若者に一律年間10万など現金を支給したり、浜松市民同士で〇歳までに結婚したら一生に一回だけ100万支給するなどにしちゃった方が効果がある気がします。
310	色々な支援があるかもしれないが知らない人が多いのでは?嫌でも入ってくるぐらいの周知の仕方が必要なのでは?ポスターやリーフでは見た人にしか入らない。積極的に知ろうとしている人にしかわからない。若者向けならSNSなどの広告だったり口コミで広がりそうな方法だったり?若者の意見を聞いて参考にするべきでは
311	現在子育て中で、一度離れましたが学生時代も浜松で過ごしました。学生時代では子育てのことに気が付きませんでした。でも当時から各地でイベントが豊富だとは思ってました。いざ子育て世代になると、意外と街中が中心で、子供を連れて車移動となるとか不便な点が多いです。例えばはまホールや松菱跡地など、なにか活用できるチャンスがあるのではないのでしょうか。アクトなどでオペラやミュージカル、歌舞伎もいいですが、どうしてもそれを見に行くには預け先が必要です。託児と連携などがあると活動しやすいです。
312	未婚でもこどもを持つ選択ができる支援。若者が新しい事業をスタートしやすい環境の整備。収入の安定を保証すること。
313	少子化対策をするなら、婚姻数を増やす施策を行うことが良いと思います。婚姻数が減っているだけで、母親1人当たりが出産する子供の人数は減っていないと聞いたことが有ります。かといって日本では、婚姻の無い出産は極めて希少だと思います。婚姻につながる若者の出会いを創出するべきだと思います。また、意識やスキルを改善する教育、セミナーなどがあると良いと思います。コンプライアンスやセクハラなどが注目されている中、職場で出会いを作ることは難しく感じます。かといって職場以外での出会いは減多にありません。現在はマッチングアプリが有名ですが、周囲の人の話を聞く感覚ではうまくいく人とうまくいかない人がはっきり分かれているように感じます。
314	仕事は選ばなければなんでもある。しかし、実際はそうではない。条件面で断念したり選択しないことがあると思う。それをちゃんとヒアリングして少しでも支援につなげてほしい。
315	子供の医療費を無料にしてほしい。子供が喘息持ちなので月に一回通院しているが、様子を聞かれるだけ、薬をもらうだけと言う時にもお金がかかるのがどうしても苦に感じる。他の市に住んでいた時は子供の医療費はかからなかったもので、尚更感じる。かからなかった時は、3ヶ月に1回歯医者に通わせて歯科検診やフッ素をやってもらっていたが、それもやらなくなってしまった。お金がかかるというだけでどうしても行き渋ってしまう。どうしてもやらなければならないことではないが、子供に対する生活の質は浜松に引っ越してきて確実に落ちたと感じている。
316	駅前のスケボー禁止の対策として近郊の公園にスケボーができる施設がある（もしくは作る）ようですが、駅前にスケボーができる施設をつくらないと駅前でスケボーをやる若者は減らないと思います。高松市では高松駅の近くにスケボー施設があるのでご参考ください。
317	えんしゅうはますますひろばがなくなってしまって本当に辛いです。実の孫のように子どもたちを可愛がってくれたスタッフの方々。お元気でしょうか。このような幅広い世代が温かく関わり合えるような場があると世の中捨てたものじゃないなって、結婚って案外幸せなものなんじゃないかな、自分の子どもをもつこともいいかもなどと思えるような人が増えるのではないかと感じます。
318	子育て世代が若者なのか年齢で区切られているのかわからないが、子育てしながら親の面倒を見ている人間の支援をして、ほしい。
319	不妊治療の支援をお願いします。20代でも授かれず30代前半で現在も治療中です。
320	色々な世代の人と関われる場所と日を作る。障害のある人となない人が一緒に活動して親睦を深める場の提供。
321	結婚するもしないも個人の自由だが、金銭面での不安はその人の人生に深く作用する。3人の子どもの子育てをしているが、金銭面はいつでも厳しい。収入が子どもたちの将来に深く関わることを日々実感している。子どもはいらない。という判断になってもおかしくない。部活もなくなるし。外部に入るととんでもない金額になる。悩みは尽きない。

322	子育てのサポートの充実(インフルワクチン補助や医療費無料、教育費補助など)や、職場での子の看病休暇などの支援があればありがたいです。
323	結婚、出産のメリットを感じられる政策が必要
324	西平第二公園にあるタイプの滑り台が危険すぎて子が1人で登っているととても怖い。西岸中央公園のような安全な遊具に変えて欲しい。
325	今の若者にはインターネットがあるから「正解」っていうのがわかってしまっていて、ある意味生きづらいんじゃないかなあと思います。正解とされているものと自分の現状の差に苦しんでしまうのではないかと心配しています。私自身はメンタル面のフォローをしてあげられるように動けるといいなと思っています。
326	若者が生きる希望を持てる社会にして欲しいです。物価が年々高くなり給料は変わらない、こんな世の中では希望がもてません。まずは給料をあげてください。また、保育士や介護士、負担の大きい職業は特に手厚いお給料にして欲しいです。責任重大なのに薄給過ぎます。娘が保育士になりたいと言いましたが正直に薄給だからやめた方がいいと言いました。そんな世の中でいいんですか？
327	子育て家庭への支援の充実
328	若者もそうですが、子育て世代も辛いです。働いても、税金で引かれることが多くて辛いです。保育園も2人目なのに、上の子が小学校に行くと、2人目カウントされずに、保育料が満額。
329	真剣な出会いの場ができ、若者を結婚に導くことが1番の少子化対策だと思う。したくてもできない人はいくらでもいる。
330	人生の目的や目標を見い出せない人が多い気がします。そこで個性に合わせた仕事や、結婚相談などできる環境を、作っていく必要があると感じている。昔は教えなくても、出来るだろと言う考え方も、古くなってきている教えてあげる必要がでてきている。
331	子ども医療費助成を充実した環境をつくるべき。県外や県内でも医療費が無償化の所は沢山あります。浜松市はなぜならいんでしょうか。疑問があります。ケガなどのリハビリで週に2.3回通院した場合、月に4,000円～6,000かかります。負担になると思いませんか。自分で医療保険に入っているけどケガなどでも対象にならないものもあります。ご存知でしょうか。令和6年4月より自己負担金の見直しで乳幼児に限り通院原則無料になりましたが、なぜ乳幼児だけなのでしょう。乳幼児の時期は短いからですよ。乳幼児以降の医療費の方が負担が大きいですよね。もっと子育て世代や、子供の事を考えて税金を使っていただきたいです。物価高になり給料は上がらず支出が増える一方で習い事の値上げなど、働き盛りの子育て世代が苦しむ一方です。このままでは貯蓄も出来ず教育資金やその先の自分達の老後にも不安しかありません。浜松市は子どもに優しくない、子育てしにくい市だとつくづく思っていて嫌気が指します。できるのであれば、浜松市から出たいと思った事も何度もあります。妊娠や出産の支援より、子育てしていく方が断然にお金かかりますよね。教育費負担の軽減をしなければ、少子化問題も解決しないと思います。どうか浜松市が子育てがしやすい市になる事を願ってます。ご検討のほどよろしくお願いいたします。
332	結婚の際は夫、妻共に仕事を正規・フルタイムで行っていたため金銭的に困ったことはなかったが、出産後から育児にお金がかかり生活ギリギリの状態です。育児に対して継続的な支援があると助かります
333	金銭的な問題を抱えている若者が多いと思うので、まずお金の面でサポートして頂けると助かります
334	収入は多く見えても手取りは少なく、物価上昇もあり将来が不安になる。経済的に余裕がないと子育ては難しい。少子化対策には賃上げや経済的支援が必須。
335	こどもに関する所得制限は撤廃してください。高所得であろうとこどもにかかる費用は同じかそれ以上、そして将来浜松市への貢献を考えた場合優先してほしいです。
336	私が若かった頃よりも、さらに現実が厳しく、より夢を持ちにくい世の中になってきていると思います。テレビでは政治不信、老後の不安、結婚出産子育ての不満ばかり放映されているので、子供達が結婚で良い物だ。子供を産んで育てたいと思える世に変わってほしいと思います。
337	中高年からの時代にそぐわない価値観の押し付けがあった旨の相談があった場合は行政から警告をしていただきたい。下の世代の人権や価値観を無視して冒涔するようなことはあってはならない。
338	特になし
339	高校、大学などの義務教育外の子育てに関する経済的支援が必須だと思います。子作りするタイミングにおいて、高校大学の費用は10年以上あとの話になりますが、この様な1番お金がかかる時に何もしてもらえないなら子供を作る気になる人は少ないと思います。

340	子育て支援の充実をしていかないと少子化は解消されない。物価は上がり給料は上がらない生活は圧迫されている中、子供がほしくても未来を考えると不安しかない。高齢者が増え若者に税金のしわ寄せがあり、先行きが見えない。今の高齢者が悪いわけではないが若者に対する負担が大きすぎる。学費や医療費の無償化や働き方改革をしていかないと改善はされないが、そのためには税金の引き上げをしていかなければならなくなる。経済政策を見直ししていかなければ変わらないと考えられる。
341	行政を通じて出会いの場を提供する必要は無いと思います。将来を考えている若者は自分から行動できると思うからです。引きこもっている若者に対しては、結婚以前に、社会に適応できるように、親も含め、家から一歩出れるよう環境の変化を与えてあげないと行けないと思います。
342	浜松市の支援策に対する意見とは違うかもしれませんがかせていただきます。結婚、子育てはお金がかかる、大変と言うイメージを払拭するべく様々な支援をしてくださってるのは理解しています。そして、若い女性の関東への流出が、浜松市における少子化の要因となっていることも理解しています。ここでは、いま浜松に住んでいる、若い女性に焦点を絞って意見を述べさせていただきます。私の周りの独身の方々は、ある程度経済力があるが、仕事が忙しく、婚活するより趣味の時間を優先している人が一定数多い気がします。つまり、貧困が少子化に直結していると言い切れないなとも思います。上記に述べたある程度経済力のある女性は、結婚を急がず、いざ結婚しても晩婚なため、年齢的に複数人子供を産むのはむずかしかったりします。そして、仮に結婚して出産しても、仕事をしながら、しかも高齢で子育てををすると言う茨の道も待っています。趣味の時間も大切だけど、出産適齢期は昔と変わっていないし、はたらくながら子育ては体力がいるので、20代から妊活をすることの大切さをまず啓発すること。加えて、結婚、出産は確かに大変だけれども、人間としてすごく成長する気がします。世の中結婚していないのは珍しいことではないと言う風潮がありますが、それを言っているのは少子化は進むばかりです。ですから、結婚、出産は素晴らしいもの、楽しいものというイメージをじわじわと植え付けていくのも大切だと思います。また、今や共働きが普通になっている中、小さい子供がいる母親、父親が十分に仕事を全うできない故に、独身者に仕事の荷重がかかっている現状にも目を向け、誰がいつ休んでも回る業務体制を全ての企業にて構築する、もしくはそれを支援すると言うのが必要になっていくのではないかと思います。そうすれば、独身者も婚活等に裂く時間が得られるのではないかと思います。
343	そもそも、子供を育てるのは平等にお金がかかります。生活保護や低所得や1人親世代ばかりに給付金があれば働かない方がマシ、離婚した方がマシになります。本当に必要な人にお金が掛けれるように浜松が1番子育てしたくなるようにしてください。
344	大学の学費、仕送り費が高すぎる。子どもが大きくなればなるほどお金が必要になる。もし子どもがいなければ、早期にリタイア、かなり贅沢な暮らしができる。こんな社会間違ってる。どう考えてもおかしい。これでは子どもを生みたい、育てたいという人はいなくなると思う。
345	子育て支援施策を充実させて欲しい
346	高齢者の長寿より、未来ある子どもや若者を支援施策は、とても大切な事だと思うのもっともっと力を入れてほしい。最近だと小1の娘を夏休み期間中だけ学童に預けたかったが（普段はパートタイム勤務で学童の必要が無いので利用していない）希望を受け入れてもらえなかった事に絶望しました。子育て環境に対して不便を感じました。子どもに習い事をさせたくても結局は、親の収入によって制限しなくてはいけない事に子どもの可能性を狭めていると感じます。何もかも高過ぎる！！
347	車がないと生活が成り立たない環境とならないよう移動の自由が得られるサービスが充実すると良いと感じる。外に出る若者が増えると街が活性化すると考える。
348	浜松市が子育てしやすい町である事を謳ってはいるものの、経済的面で子育てがしづらかったり（例えば、公共交通機関が不足している浜松では、車は子育てする上で必須だが、車はどんどん高額になっている）、気軽に子どもを預けられる施設が少ない（急遽子どもを預けたいと思って事前登録が無いと預けられない施設が多い。ママのリフレッシュのために長い時間預けられる施設がない。）ため、若い親程浜松での子育てをためらいやすくなると感じます。そもそも浜松の中小企業で働く場合、収入もなかなか得られないので、浜松の中小企業で働く事でも魅力的に感じる支援もあると良いです。
349	婚姻率の上昇が必要
350	結婚給付金の制度を結婚前に安易に詳しく知りたい。子どもの医療費をタダにして欲しい。
351	結婚や出産の適齢期である20-30代前半の若者が経済的、社会的不安を抱えないことが重要と考えます。
352	子どもの医療費補助は年々手厚くなっていて、非常に助かっています。児童会の人数がもう少し多いといいなと思います(いつ追い出されるか不安です)

353	それぞれ抱えてるものは違うが、多くはどこに相談に行けばいいのかわからない。周知にもっと力を入れるべきではないか。縦割りなのは仕方ないかもしれないがそれも踏まえた上でサポートする（できる）環境整備が必要だと思う。
354	会社にも30代の独身のかたがいる。出会う機会がないのだと思う。出会う機会を。
355	田舎の方はまだまだ賃金が安いのももう少し上げてほしい。病院も習い事も少ないので子育てには不便。
356	お金の旧譜ではなく、税金を減らすのが一番だと思います。
357	普通に生活していても収入より支出が多いため子育てを考えることができない。
358	将来も浜松に住みたいと思える街作りを目指す。自然も豊か、まあまあ働き場所も有る。交通インフラの改革が必要です。渋滞だらけで、移動し難い。
359	過度な支援は却って悪影響。若い時の苦労は必要。
360	経済的に、20代で（もしかしたら30代前半でも）子どもを産もうとは思えない。30代前半までを若者として、若者が実質無料で出産・子育てできるような環境にならないと少子化対策は厳しいと思う。
361	夫の収入が1000万円です。私は専業主婦で夫の一馬力で子ども2人を育てています。ちょうど税金が跳ね上がる対象で児童手当は1円も貰えないのに今年の国民健康保険は90万円市民税は63万円でした。私と夫500万ずつ稼ぐ1000万円なら税金ももっと低く児童手当も貰えるという理不尽な現実毎年悲しんでいます。何故こんな一馬力に厳しいのですか、何とかありませんか。ただ子どもを家で育てたいだけなのに。年齢や体力的にも子どもはまだ産めますが、この先増税や物価高、制度の改革に怯えてお金がかかると思うと1000万円でも産めません。子どもが母子共に健康にうめる年齢はどう頑張っても決まっているのだから、優遇しすぎと非難があっても減税や世帯主の年収ではなく世帯の年収で税額を決めて欲しいです。
362	若者でも不妊で悩んでいる人が多いので、若ければ子供はすぐできると思っている周りの認識が間違っている。
363	浜松市は遊ぶ場所が少ない。周りからも同じような声をきく。若者が遊べるような場所（例えば食べ歩きスポット）をつくることでQOLの向上と浜松市に住む意味が生まれる。
364	家賃補助
365	経済面での支援をもっと大々的に行わないと少子化問題は解決しないと考える。かといって、市で対応できる範囲も限られているので国からの協力は必要不可欠だが、現実問題それが非常に困難であるのが煩わしい
366	保険適用になる前に、浜松市には不妊治療費を補助していただき、感謝しております。
367	もっと遊べる場所を増やして欲しい。いろんなものに触れたり感じられるような施設。浜松には他市にあるような娯楽的なものが足りてないし、お金をかけてなさすぎる。施設があっても民間に任せっきりで、行政がもっと責任持ってほしい。動物園にしろ、廃れてる場所が多い。
368	子どもがいますが、将来は浜松市ではないところでの就職を検討しています。これから浜松市を担う若者世代が浜松に残りたい、戻りたい、と思えるような魅力のある施策に期待をしております。
369	医療費の無償化を行って欲しい。また発達障害を抱える人々のサポートはもちろん、グレーゾーンの方への給付支援金制度、相談機関や学習支援などをより手厚いものにしていただきたい。私が思うに、グレーゾーンの方へのサポートが浜松市の支援施策に不足していると感じる。
370	もっと子育てがしやすい街になると良いなと思います。大きい公園や遊び場の充実。←車社会の街なので駐車場の充実も必須。小・中・高校の授業料の支援。愛知県のようなラーケーション制度の導入など。
371	もっと地域に感心を持ってもらいたいし地域も若者が気安く集える場所を提供出来たらと思っています。
372	子供を育てやすい環境だという実際の父母の声が聞ける環境があると良い→自分も子供ができるまでは、「少子化」という言葉を耳にする機会が多いため、漠然と「今の世の中は子育てしにくい環境なんだ」と感じていました。世間的なニュースだけを見ていると実際の姿が見えないので、実際のところ自分が住んでいる地域ではどうなのか、生の声が聞けると良いのかなと思いました。
373	フードバンク、おもちゃや服など譲渡会など協力できることなどあれば力になりたい
374	若者の経済的支援が必要だと思います。
375	出会いの場をもっと作って欲しい

376	若者が、浜松市で過ごしたいと思えるような、まずは近い将来の明るい希望を持てるような、結婚や、子育てに関する支援があれば良いと思います。例えば、子どもの医療費の無償化だけを見れば、県内の他の市町村の方が魅力的に思えます。また、不妊治療に関する支援、給食費の無償化、習い事の補助や大学までの教育費の支援、さまざまな年代の子どもの遊び場など、収入、こどもの人数に関わらない、子どもの将来にわたっての継続的な支援を望みます。浜松市なら、裕福でなくても、子どもを産み、将来の過度な不安なく子どもを育てることが出来そうだしと思えるように、どうかよろしく願いいたします。
377	児童相談所に預けたいと思うことが多い我が子ですが、簡単には預けられないとうわさでは聞いていますが実際にはどうなのかが気になっています。けんかしてしまうことが多いため、お互いに一息入れるためにも離れるべきだとわかってはいても、家の中で離れるにも限度があります。親の苦労を知ることはできないとわかってはいます。それでも、親がいなければどうなるかをわかってもらいたいと思ってしまいます。自分が死んだらどうなるのか、体験させるためにも預けることができる先がどこかにあればと思っています。お寺の修行も気になったのですが檀家さん優先かつ本人が希望すればということが書かれておりまして。そういう泊りがけワークショップみたいなもので、本人が納得しなくても参加させれるものはないでしょうか。
378	浜松は、浜松祭りという素晴らしいフレームワークを持っている。子育てや地域の活性化にこの祭りを活用しない手は無いと思う。若者と年配者が一緒に楽しめるこの素晴らしい祭りをもっと大切にしたい。人生は辛い事が沢山ある。辛い事を一つ二つ減らしたところで人生が楽しくなる訳では無い。是非、浜松っ子の大好きな浜松祭りをもっと素晴らしいものにして、浜松市民の人生を豊かな物にして欲しい。今年、佐藤西南では参加費を無料にした。提灯、ワッペンが無いと参加できない練りを、無料で地域以外の人でも参加可能にした。その為、若者の参加が増え、今年はコロナ前よりも盛大な夜の練りを催せた。地域の年齢層を超えた繋がりやすさを実感し、コロナ禍から完全に復活した祭りに喜びで涙が出そうだった。逆に中沢では祭りの幹部が入れ墨をしている等で祭りに参加しづらいと聞いている。 このような難しい問題を少しずつ改善できればもっと良い祭りになるのではないかと考えている。また凧場の暑さも課題だ。小学生が凧場に行っても暑すぎて楽しくない。楽しくない凧あげだと、小学生が大きくなっても参加しない。凧の将来のためにも、温暖化の現在に則した凧場のありかたを考えていく必要がある。また祭りが5月だけであるのも、地域の繋がり維持という意味では不足している。通年をとおして繋がる仕組みがあればなおよいかもしれない。
379	自治体が会社に対し、住宅手当の支給を義務化してほしい（子供がいる世帯のみ）また、上記を対応した会社に対して、何かしらのメリット（全税）を与える。
380	自動車の維持費が高すぎるので、公共交通機関の充実。市バスが無理なら遠州鉄道に投資する。宇都宮市と同じようにライトレールを導入する。
381	国の若者支援は足りない、または的外れなもの、広く知られていないものもあります。浜松市として子育てがしやすい環境を整えたり、国の制度利用の紹介なども大事だと思います
382	レジャーと産業の共存や、場合によっては境界を定めるなど、上手に環境資源を活かして欲しい
383	少子化対策として、不妊治療への支援の拡充を特に期待しています。不妊治療を受けている方々は、みな子供を持つ意欲があり、望まれて生まれてくる子供が多いと思いますし、子供が生まれた暁には、きっと意欲的に子育てに取り組むと思います。そういった、今まさに妊娠出産を目指している方々への経済的な支援や、上手く治療が進まない際のメンタルケア等の支援体制に期待しています。例えば、体外受精の胚移植は近年保険適用になったものの、保険適用の移植回数は6回までが限度で、6回目以降は全額自己負担となります。不妊治療を続けている方々の中では、そもそも保険適用内でも経済的負担を感じている方もいると思いますし、その後の全額自己負担では、治療が続けられない人もいます。そういった治療が続けられている方々への助成金や医療費の削減等経済支援に期待しています。また、不妊治療中の女性の中では、将来無事に子供を授かるか不安を感じていたり、治療失敗や流産等で深く傷ついている女性も少なくないと思います。そういった方々の不安・悲しみ・孤独等が少しでも落ち着き、前向きに活動できるように、お悩み相談室や、治療している方々同士のコミュニティ等もあると良いと思いました。
384	浜松という町はイオン周辺を中心に発達しているが、周辺の移動には車が生活必需品となっている。車の購入や維持には世代に関わらないお金がかかり、高齢世代と比べて収入が少ない若者には相対的に重い金額がかかっている。最低限のラインは難しいが、若い世代の経済的余裕を作るには他の世代に比べて相対的に収入に占める割合が高い費用を補助していくのがよいのではないかな。

385	昭和平成初期世代と異なり、今は車でも携帯でもなんでも高い。まずは若者の給料を上げる、もしくは社会保険料や税金を下げる。また週二日休みを三日にしてみる等、お金だけでなく時間も増やす。浜松市で就職、結婚、住宅を建てるといった選択をしやすいよう支援する。交通が不便なのでより便利にするか、車を買ったり、維持しやすいようにする。水害地域が多いので排水能力をとにかく上げること。
386	金銭的な生活の安定が優先だと思う
387	税金を無駄にお金をばらまくのではなく、意図した用途（限定されたものしか使えないように）使ってほしい。
388	・子育て支援は必要な施策であり、結婚後の夫婦に対する支援として引き続き重要。しかし、国や地方自治体を実施している施策は、子育て支援に偏重している傾向が有る。・理由は、結婚の意思が有りながら、結婚出来ない人も多く、その部分の様々な支援が見逃がされているからである。結婚する人の減少に歯止めがかかれば、同じ出生率であっても、出生数の減少に歯止めをかける事が出来、子育て支援と同様に、こちらの支援も少子化対策に繋がる点も重要視して貰いたい。・このままだと経済、社会保障、国力等、様々な分野への悪影響が顕在化し、取り返しのつかない状況になる為、フランス等の少子化対策の成功例を参考にしつつ、子育て支援、若者支援の両輪の施策を最優先課題として取り組むべき。
389	夫婦共働きだが社会保険料や各種税金が高いため、実際の所得は多くない。また、子ども1人育てるのに金銭的負担が大きい。子どもは可愛く、所得に余裕があればもう1人欲しいが、現実を考えると難しい。他自治体では給食の無償化などもあるが、浜松市ではやらないのか。そのようなサポートもあると、助かるのになあと思う。
390	若い世代の人達がそもそも関心を持たない、関わろうとしない状況を若いうちから正していくようなやり方が必要なのではないかと感じます。
391	経済的負担が楽になれば少子化の対策になると思う。結婚しないや趣味に時間を使うという背景には限られた時間と資金で、子供より優先したいことがあるから。子供が最優先と考える人のみが子供を作るようになるから少子化が進む。子供の優先順位が下でも経済的に余裕があれば少子化は改善する。
392	保育園に入れずに困っています
393	出産祝い金があれば嬉しい
394	まずは金銭的補助だと思います。給与が低い割に土地が安いわけでもなく、車が必須な土地であり、ライブ会場等のエンタメがとても少ないので、それなら隣接している都会に進出するのは当たり前かと思います。
395	若者がお金をたくさん稼げる環境が大切かと思います。何をするのに「お金あるっけ?」となってしまいますので。
396	子育て支援を充実してほしい
397	自分育児休暇明けで収入が少ないです。ほぼ旦那の収入でやってますが、保育園が高くて、毎月カツカツです。今3人目の子供の産休中で、収入が無くて、保育園やら、学校とか、いろいろ大変です。少なくとも保育園はもう少し安くなったら助かります。子供も体が弱くて、一回病気になるとしばらく保育園行けないのに、払う金額が一緒です。休んでる分の有給もないので、その分の給料も減ります。子供のかかる費用もう少し軽くなったら子供が増えるかもしれないです。
398	居場所も多様性があっていいと思う。必要な医療、福祉、教育、就労支援の機関が連携していけたらいいと思います。
399	情報を開示していただいているとは思いますが、知らないことが多すぎる。自分から情報を受け取りに行く行動がないのも問題だが、平時の生活の中で情報が受け取れない(環境、時間、場所、手段)。今回の回答はこども園からのメールで実施できたが、こども園に入園していない家庭の現状は市としてどのように把握、意見をまとめていくのか。平等に生活しやすい浜松市になることを切に願います。
400	スケートボードをしたい若い子たちが少なからずいるようです。夕方遠鉄百貨店の下でやっている子たちがいます。彼らの中から浜松が誇るオリンピック選手が出る可能性があると思うと街の人や違う若者たちにも希望が生まれると思います。彼らが百貨店の下でどうしてもやりたい要望があるかもしれませんが、街ぐるみで青少年を色々な形で応援し、若者によりそうサポートをお願いしたいです。行政と若者がお互いに理解できる浜松市になれるといいと思います。
401	生まれてから浜松にずっと住んでいますが、とても住みやすくとても良い地域だと思っています。
402	中心街やその周辺部に施設を集中させるのではなく、郊外部の施設のPRをした方が有効的ではないかと思う。また、法律や憲法絡みで難しいところがあるが、障害のある生徒を通常級に通わせることができてしまう事は、あまりよろしくないのではないかとも思う。本人にとってもついていけない授業は苦痛だし、周りの子供たちにとっても授業の妨害や、必要な時に支援員や教員の支援を受けられないのは合理的とは到底思えない。全ての人が「支援学級は恥ずべきことではない」と理解できるよう、周知する施策があるととても助かる。
403	学校の選び方など、進路選びに関するサポートが欲しい。

404	学校教育で、クラスをわける、こういうのから撤廃していきましょう…支援が必要な人をうむ社会とは、人を分けている世界があるからだと思います。
405	学び直しの補助制度
406	自分はハローワークしか知りませんでしたが多感な年頃の若者世代に対して自分で今の状況から一歩踏み出し、リフレッシュ出来るような施設と環境があれば少しは未来に期待したりワクワクしながら過ごせるのかなと思いました。 「施設と環境」と書きましたが簡単な事ではないと承知しております。施設にかかる人件費や光熱費等たくさんの課題があると思いますが、利用したくても高くお金が払えない→行けない…となってしまうと身近な人に頼ることが苦手、頼れない人は「もう誰に、何処に頼れば良いのか…」となってしまうのかな？とも考えました。無料で使用できてしまうと溜まり場になってしまったり、逆に状況が悪化してしまうことも懸念されると思います。何をするにもお金がかかり生活が苦しくなるばかりですがきっと若者はデリケートな年頃で少し人生経験が多い大人よりも更に未来に不安をたくさん抱えて過ごしていると思うので、月に一度でも同世代と交流する場や真剣に聞いてもらえる相談できる大人と機関があると知っているだけで心持ちも変わるのではないかと思います。
407	まずは多くの若者の声を聞いて欲しい。話を聞いて、子どもを欲しい、育てたいと思ってもらうためには、どうするのが良いか真剣に考えて欲しい。施策とニーズの間にミスマッチがないのか、きちんと検証しながら進めて欲しい。
408	個々の価値観が確立されているので、他人との関わり方を知らない世代なのだと思うから引っ張れるリーダーが必要だと思う。
409	若者の問題、難しいと思います。男性が家庭に入ることも女性が社会に進出することも極めて重要であると同時に、出産や子育てという観点からは晩婚化や男性の逃避行動を促してしまうため、両立が難しいです。これを解決するためには、家事の外注化を推し進め、学校や地域における家庭の役割(名前の刺繍やら地域子供行事の参加やら)は減らし、高等教育への不安解消の政策(例えば県内外の国立大学を卒業して地元に戻ってきて10年間働いたら免除となる独自の奨学金制度を設けるとか、地域の高校への通学手段を拡充するとか)を実施する必要があるのではないのでしょうか。
410	あまり若者支援施策とかがあっても、知らないことも多いのもっと情報発信をしてほしい。
411	もっと浜松市内を動きやすい環境にしてほしい。公共交通機関の整備（市内電車など）
412	最低限の補助はしても良いが、それ以上の負担は税金で出すべきではない。大学費用など。現在の30から40代の老後の不安が少子化を進めてる。退職後に希望が待てない。
413	支援施設やサービスはたくさんあると思うが、利用する事に抵抗がある人は少なくないと思う。その障壁を少しでも下げられるようなキャッチフレーズ、安心させられるような説明等あれば良いと思う。対応される方の雰囲気もとても大切だと思います。難しいとは思いますが、相談にくる人それぞれにあった性格の相談役がいると思います。
414	若い人が浜松に移住してもらえるような施策（子育ての環境など）を進められれば、いろいろな場面で浜松市が活性化されると思います
415	金銭面での補助は必須だと思う
416	進学するにも働くのにも結婚、出産、育児…住んでいてずっと魅力ある自慢出来る浜松にしてほしい。色々な方が学校に来て講義を受けられる、実際の会社や企業で働く体験が出来る、とか学校でも会社でも資格を取るのを応援してくれるとか。働く母、父が家庭も大事にしながら仕事出来るような職場だと若い人もその人達を見て結婚、出産にも希望が待てる気がする。
417	就職難や詐欺などに遭った際の支援体制を築いてほしい
418	独身、既婚、子育て中など、どんなライフステージにいても、仕事に忙殺されて(家には寝に帰るだけの様な)しまう様な生活でなく、やりたい事や、趣味、自分への投資に意識が向けられるように支援を希望します。
419	とにかくお金
420	人間にお金を使って欲しい
421	働き方改革や男女平等化など色々な変革があった結果、今の世代で結婚や出産など長期的にメリットを得られる選択肢が短期的な他のメリットに負けてしまっている。少なくとも静岡市よりも、出来れば県内で1番結婚や出産がしやすい街として豪語できる政策をお願いしたい。26歳男性
422	若者が移動しやすいように公共交通機関の充実を促してほしい
423	3人目の前に1人目2人目を産んでもらわなければ始まらない。保育園に1人目を入れるハードルが高すぎる。金銭的援助が遅れすぎている
424	発達障害もしくはグレーゾーンの人が過ごしやすい社会になればいいなと願っております。

425	恋愛や趣味を楽しむには収入の安定が一番です。今の収入だけでなく将来予想される収入に見通しが立てば安心して結婚、出産にも踏み切れると思います。
426	人見知りでも色々な人と関われる機会を作って欲しい
427	経済的、肉体的、精神的負担の軽減。そもそも育児にはお金、時間、労力がかかり、個人のすべてが削られることを若い世代はコスパが悪いと考えるため、子どもを作ろうと思わない人が増えている。それらをすべて、もしくは大部分を軽減する必要があると考える。しかし基本的には両親が子どもを見なければならぬため、時間と労力は大幅に軽減することは難しく、結果的にお金の優遇が好ましい。このお金の優遇は子育て分を軽減するのではなく、子どもがいることでない時よりも優遇されるくらいでなければ、若い世代の子作りには繋がらないと思う。それを踏まえたうえで政策としては、子ども連れ時の公共交通機関の無償化、育児期間の家賃補助、市県民税の極端な優遇、子どもの無償預かり所を作り月二回程度の利用を可能にする、などなどがあっていいと考えている。まとめると、子育て負担の軽減ではなく、子連れ家族を優遇する環境にするべきである。
428	私は、現在ギリギリ20代ですが、浜松にいてもやりたいことをできない上、女性として働きながら家庭を両立することは難しいと日々感じています。浜松でも有名な東証一部上場企業に入社しましたが、現状を訴えたいと感じるほど社内の状況は悪く、古い考えが根付き、管理職がそもそも年齢層が高い為、ダイバーシティーの取り入れや女性管理職の増加・女性の働き方改革、また生理用品の補助など女性が生活する上での支援なども提案しても取り入れては頂けません。女性社員として意見交換ができる交流の場所を浜松市で作っていただきたいです。また、それは全女性正社員を対象として頂きたいです。
429	子ども達に質の高い教育を受けさせるべき。特にIT分野。今後人口が減り続けるので少数精鋭で乗り切る必要がある。人口増加には時間がかかる。教員のレベルを上げる必要もある。教員の働き方改革が必要。教員免許がなくても出来る仕事は教員から切り離すべき！
430	若者支援を行っている印象が全くない。施策を行っているのであれば、もう少し公表していてもらいたい
431	結婚に対する意識のところに書きましたが、今は選択の自由だったりとかで結婚率、出生率が低下していると思います。何事も行き過ぎは良くないと思いますが、バランスをとった上で結婚することのアドバンテージを設けることが問題の解決に繋がると思います。出会いの場が少ないとかが問題でしたら結婚詐欺、美人局などへの罰則をより強化して、それらの犯罪が撲滅されるくらいの対策をすれば良いと思います。その上で出会いの場に関してのハードルを下げていき、婚活パーティー、出会い系サイトが如何わしいものではない事をメディアやSNSなどを通じて周知していけば良いと思います。
432	税金が高く、手取りが増えない。ただでさえ給料が低いのに税金でとられる分が増えている。毎年国民負担率が上がり、今後金銭的に良くなるという明るい見通しが無い。子供を諦めるという思考に自然になってしまう。
433	家族を持つことの幸せを感じ、結婚や妊娠出産、子育てに明るいイメージをもてる若者を増やして欲しい。現に子育てをしている方と話す機会や、ドキュメントなどをみる機会があると良いのではないかなと思う。
434	少子化対策として、若いときに子育てを身近に感じる機会が必要だと思う。家族以外の子育ての経験者に気軽にきける場があるといい。
435	医療費助成について、現在は6歳まで無償化として頂いておりますが、18歳まで拡充してほしいです。以前豊橋市に住んでおり、18歳まで医療費が無料でしたので、子育てするうえですごくありがたいと考えていました。最近浜松市に引っ越してきて、生活環境や子育て支援に大変満足していますが、医療費助成がさらに拡充すれば、もっと子育て世代が来てくれるまちになるのではないかなと思っています。もちろん7～18歳は1回500円として頂いておりますが、豊橋にできるなら浜松でも実現可能なのではないかなと勝手ながら思っています。今後ご検討いただけましたら幸いです。
436	学生の場合、学校とは関係ない場所で活動できることも大切だと思います。
437	20代の頃、アイミティに通っていました。今振り返ると、他の業種の方と知り合えて、とても社会勉強になりました。アイミティのような講座が今後も必要だと思います。